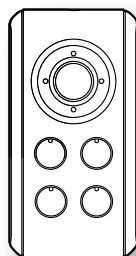
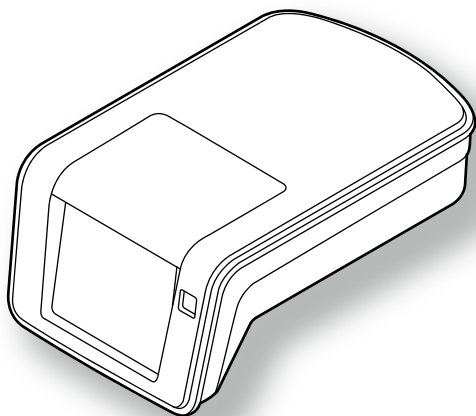


GPS 搭載ドライブ
レコーダー付レーダー

取扱説明書／保証書

GDA180R

COMTEC
LUXION



この度はルキシオンシリーズをお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本書には取付け及び操作手順が説明されております。正しくご使用いただく為に本書をよくお読みのうえ、ご使用ください。尚、読み終えた後、いつでも見られるよう大切に保管してください。

COMTEC

目次

| | | | |
|----------------------------|----|-----------------------------------|-----|
| ご使用上の注意 | 3 | アラーム機能 | 77 |
| 製品の特徴 | 5 | 画面表示カラー切替え機能 | 77 |
| 各部の名称 | 6 | オールリセット（デタリセット） | 78 |
| 製品本体 | 6 | フォーマット | 79 |
| ディスプレイ表示 | 8 | ディスプレイモード（販売店向け機能） | 80 |
| 梱包内容 | 9 | 警報について | 81 |
| ご使用にあたって | 10 | GPS 警報 | 81 |
| GPS 機能について | 11 | オービス/ユーザー登録ポイント警報（GPSスピードガン info） | 81 |
| データ更新について | 12 | オービス（GPS）方向指示（機能）について | 81 |
| 液晶ディスプレイについて | 12 | Nシステム/NHシステム警報（N/NH SYSTEM info） | 83 |
| SD カードについて | 12 | チェックポイント警報（トラップポイント info） | 84 |
| 取付け方法 | 13 | ポリスエリア警報（ポリスロケート info） | 84 |
| 取付けの前に | 13 | 事故ポイント警報（事故ポイント info） | 85 |
| ディスプレイ本体の取付け（仮固定） | 14 | サービスエリア・パーキングエリア | |
| アンテナユニットの取付け | 16 | ハイウェイオアシス警報（SA/PA/HO info） | 85 |
| 外部スイッチの取付け | 18 | 道の駅ポイント警報（道の駅 info） | 86 |
| メインユニットの取付け | 19 | 急カーブポイント警報（カーブポイント info） | 86 |
| シガープラグコード、電源配線ユニットの取付け | 21 | トンネルポイント警報（トンネルポイント info） | 87 |
| 平型ヒューズ付きコードの取付け、配線 | 22 | 県境ポイント警報（県境ポイント info） | 88 |
| リモコンについて | 23 | 分岐合流ポイント警報（分岐合流ポイント info） | 89 |
| 作動確認 | 26 | 駐車監視エリア警報（駐車監視エリア info） | 90 |
| 作動確認 対処方法 | 31 | セーフモード設定（セーフティモード info） | 91 |
| 外部スイッチ LED 確認 | 33 | レーダー警報 | 92 |
| 機能及び操作方法 | 34 | 無線警報 | 93 |
| 電源を ON にする | 34 | 受信範囲の切り替えについて | 93 |
| 電源を OFF にする | 35 | カーロケ無線警報 | 95 |
| テスト機能、音量調整、輝度調整 | 36 | 350.1MHz 警報（取締り用連絡無線） | 97 |
| 画面表示について | 38 | デジタル無線警報 | 98 |
| おまかせカンタン設定 | 41 | 署活系無線警報 | 99 |
| ロードセレクト機能 | 43 | ワイド無線警報 | 99 |
| ユーザー登録ポイント追加／オービス警報キャンセル機能 | 44 | 警察/消防ヘリテレ無線警報 | 100 |
| レーダーキャンセル機能 | 46 | 取締特小無線警報 | 101 |
| オートティマー機能 | 47 | 警察活動無線警報 | 101 |
| 走行管理機能 | 48 | 新救急無線警報 | 101 |
| 愛車点検お知らせ機能（車両管理機能） | 49 | 消防無線警報 | 102 |
| オープニングコール機能 | 49 | レッカー無線警報 | 102 |
| 車両電圧表示機能 | 49 | 高速管理車両無線警報 | 103 |
| 危険運転お知らせ機能 | 50 | 警備無線警報 | 103 |
| 運転採点機能 | 50 | パトロールエリア警報（パトロールエリア info） | 104 |
| 映像の記録 | 51 | ミュートマーク（機能）について | 104 |
| 映像の記録 | 51 | パス機能 | 105 |
| バックアップ機能 | 51 | オートボリュームダウン機能 | 105 |
| 記録方法 | 52 | 取締りの種類と方法 | 106 |
| 記録した映像を確認する | 53 | レーダー式の取締り | 106 |
| 本体で映像を確認する | 53 | レーダー式以外の取締り | 107 |
| 映像をロックする | 54 | その他 | 109 |
| ビューワソフト内容 | 55 | 故障かな？と思ったら | 109 |
| 設定メニュー | 60 | エラーコード | 111 |
| 各機能の設定 | 60 | さくいん | 112 |
| レーダー受信感度の設定（ASC-i） | 74 | 仕様 | 114 |
| ロー・スピード・キャンセル（LSC-i） | 76 | 製品仕様 | 114 |
| | | 保証規定 | 115 |
| | | 保証書 | 裏面 |

ご使用上の注意

ご使用の前に、この「ご使用上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、注意事項には危害や損害の大きさを明確にする為に誤った取扱いをすると生じる、または想定される内容を「警告」・「注意」の2つに分けています。

⚠ 警告 警告を無視した取扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う原因となります。

⚠ 注意 注意を無視した取扱いをすると、使用者が障害や物的損害を被る可能性があります。

⚠ 警告

- 本製品を分解・改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 運転者は走行中に本製品を絶対に操作しないでください。同乗者の方が操作を行ってください。
- 本製品は電子部品を使用した精密機器のため、衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 本製品は、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。また、自動車の機能（エアバック等）の妨げにならない場所に取付けてください。事故や怪我の原因となります。
- 本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・車の故障の原因となります。
- 本製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 本製品を医療機器の近くで使用しないでください。電波により医療機器に影響を与える恐れがあります。

⚠ 注意

- 本製品は、事故発生時に映像を記録することを目的として開発されたものです。全ての事故映像を記録することを保証するものではありませんので、ご注意ください。また、万一の事故発生時に衝撃が弱いなどの原因で、センサーが正常に作動せずに本製品が作動しないことがあります。
- 本製品にはお買い上げの日から1年間の製品保証がついています。（但し、内蔵電池、テープ等の消耗品は保証の対象となりません。）
- 本製品の近くに他のGPS機能を持つ製品を設置しないでください。誤作動を起こす可能性があります。
- GPS衛星の電波を受信できない下記のような場所では、本製品のGPS機能が働かない為、GPSによる警報、表示、メモリー機能が正常に働きません。（トンネル・地下道・建物の中・ビル等に囲まれた場所・鉄道や道路の高架下・木々の多い森の中等）
- 車載テレビ等でUHF56チャンネルを受信（設定）していると、GPS衛星を受信できないことがあります。そのような場合、車載テレビ等のチューナー部から離し、GPS受信に影響のない衛星の受信箇所へ本製品を取付けてください。
- 本製品の受信機能は、製品仕様覧に記載されている周波数帯のみ有効です。

ご使用上の注意

⚠ 注意

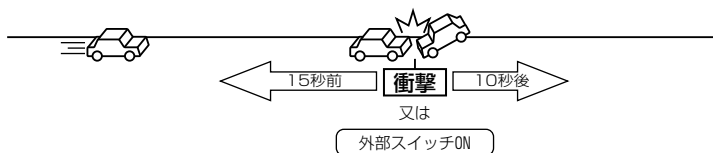
- 本製品の GPS 警報は、予め登録されたオービス・N システム・チェックポイント・警察・事故ポイント・SA/PA/HO（サービスエリア／パーキングエリア／ハイウェイオアシス）、道の駅ポイント、トンネルポイント、カーブポイント、駐車監視エリア、分岐合流ポイント、県境ポイントとお客様が任意で登録した位置のみ有効です。
- 一部ナビゲーションシステム、車載用 BS チューナー、CS チューナー、地上波デジタルチューナーや衛星放送受信機等の車載電子機器で漏れ電波が取締り機と同じ周波数の場合、本製品のレーダー受信機能が受信することがあります。
- 取締り機と同一周波数のマイクロ波を使用した機器（下記）周辺で本製品のレーダー受信機能が受信することがありますが、誤作動ではありません。予めご了承ください。（自動ドア・防犯センサー・車両通過計測器・気象用レーダーの一部・航空用レーダーの一部）
- 一部断熱ガラス（金属コーティング・金属粉入り等）、一部のミラー式フィルム装着車の場合、GPS 衛星とレーダー波の電波が受信できない場合があります。
- 内蔵バッテリーは約 2 ～ 3 年が交換時期の目安となりますが、使用状況により内蔵バッテリーの寿命が短くなる場合があります。
- 真夏などの炎天下の中では、製品が正常に作動しないことがありますので、ご注意ください。
- 部品の交換修理、パーツ購入に関しましては、販売店にお申し付けください。
- 環境保護と資源の有効利用をはかる為、寿命となった本製品、内蔵バッテリーの回収を弊社にて行っています。
- 本製品の故障による代替品の貸出は弊社では一切行っておりません。
- 本製品の仕様及び、外観は改良の為、予告なく変更することがあります。ご了承ください。
- 本製品は DC12V 車専用です。（DC24V 車への取付けはできません。）
- キーを OFF にした時、シガープラグの電源が 0V にならない車両（外車など）は、必ず付属の電源配線ユニットでイグニッション電源に直接接続してください。
- リモコンの電池カバーを開ける時は、ネジにあったプラスドライバーが必要になります。
- SD カードを抜く時は必ずキーを OFF にし、本体電源が OFF になったことを確認してから抜いてください。SD カードへのデータ書き込み中及び、読み込み中に SD カードの抜き差しをすると、データ破損、本体故障の原因となりますので、ご注意ください。
- 故障や破損の原因となりますので、SD カードは指定以外の方向で差し込まないでください。
- 本製品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。
- コード等の配線時は、車両金属部とのショートに気をつけてください。

※ 万一の事故発生時に映像が記録されていなかったり、記録した映像が破損した場合など、本製品の作動有無にかかわらず一切の責任を負いかねます。

※ 本製品を取付けての違法行為（スピード違反等）に関しては、製品作動有無にかかわらず一切の責任を負いかねます。

- ・ 車両へある一定の衝撃が加わると、その衝撃の前後最大 25 秒の映像データを自動で記録するシステムです。
(外部スイッチで任意に映像を記録することも可能です)

(例)



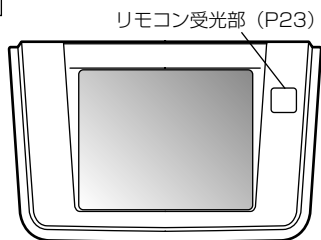
- ・ 事故発生時に記録された映像を基に、映像の解析を行うことが可能です。
- ・ 記録した映像データを SD カードへ保存し、本体液晶ディスプレイやパソコン等で映像の確認をすることが可能です。(専用ビューワソフト付属)
- ・ GPS 機能、レーダー波受信、無線受信 (14 バンド) に対応しています。
- ・ 別体式の GPS アンテナを採用していますので、幅広い車種に取付け可能です。(断熱ガラス車への取付けも可能)
- ・ 液晶メニューより各種設定、記録映像の確認、カメラ取付け位置の確認が可能です。
- ・ カレンダー、緯度経度、時計、コンパス、速度、運転時間、標高、ECO、G メーターなど多彩な待機画面の設定が可能です。
- ・ 年 3 回の交通安全週間をお知らせするセーフモード機能 (期間になるとオールオンモードで起動) を採用。
- ・ 内蔵センサーの設定値を超えた場合、音で危険をお知らせする危険運転お知らせ機能を採用。
- ・ キー ON から OFF までの間、運転状態を採点する運転採点機能 (ECO モード) を採用。
- ・ 車両に掛かる「G」を画面上に表示する G メーター機能を採用。
- ・ 車両の使用状態を管理する走行管理機能 (距離、時間) を採用。
- ・ 走行距離、走行期間を過ぎるとお知らせする愛車点検お知らせ機能 (車両管理機能) を採用。
- ・ 走行中にカメラで撮影している映像を液晶画面で確認できる機能を採用。
- ・ 起動時にオープニング画面表示、アナウンスを行うオープニング表示機能を採用。
- ・ 車両情報ユニット (オプション発売予定)
車両情報ユニットを接続すると、スピードパルス、ブレーキなどの情報を映像と一緒に記録することが可能です。

各部の名称

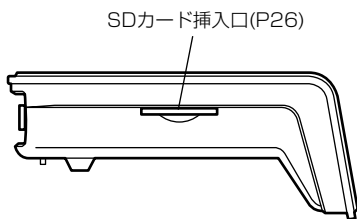
製品本体

ディスプレイ本体

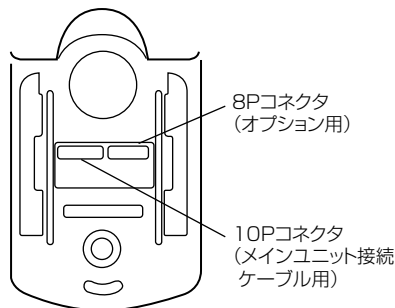
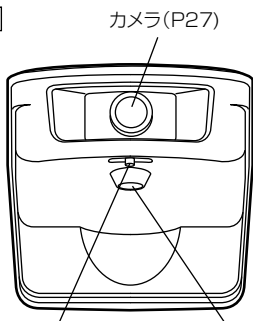
表面



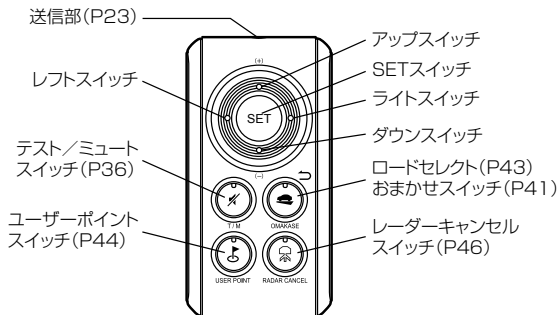
側面



裏面

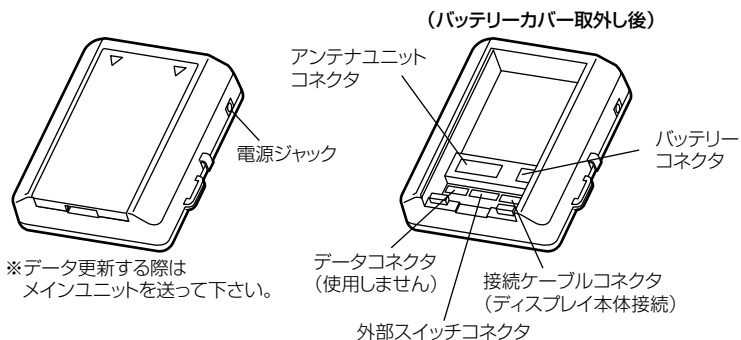


リモコン

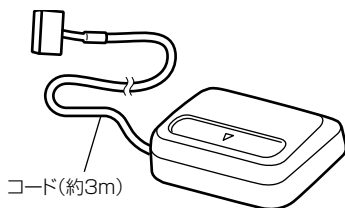


※ 電池の入れ方は P24 参照

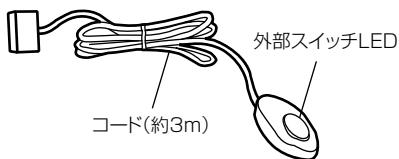
■メインユニット



■アンテナユニット



■外部スイッチ

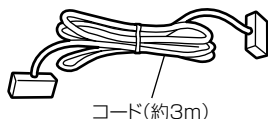


※ 外部スイッチ LED で本体状況が確認できます。

| 外部スイッチ LED 表示 | 緑点灯 | 緑点滅 | 橙点灯 | 橙点滅 | 赤点灯 | 赤点滅 |
|------------------|------|-----|------------|------------|------|-----|
| 本体状況 | 記録可能 | 待機中 | 映像を 保存中 | 映像を 記録中 | 修復可能 | 要点検 |

各部の名称

■接続ケーブル (ディスプレイ本体、メインユニット間)

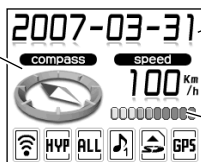


■ディスプレイ表示

■待機表示

<表示例>

コンパス表示
(他にも時計、速度、運転時間、Gメーター、運転採点機能、標高を表示できます。ただし、右表示と同じ表示はできません。)(P38)



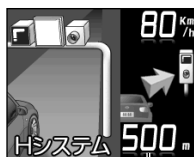
カレンダー表示
(他にも緯度・経度、カレンダー+時計を表示できます。)(P38)

速度表示
(他にも時計、コンパス、運転時間、Gメーター、運転採点機能、標高を表示できます。ただし、左表示と同じ表示はできません。)(P38)

■警報表示

<表示例>

オービス (GPS)
警報の場合



到達距離

オービス以外 (GPS) の
警報の場合



レーダー、ステルス、
無線警報の場合

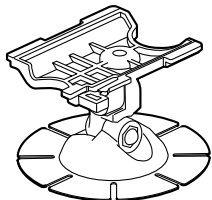


受信種類

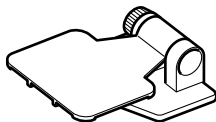
受信レベル

梱包内容

本体ステー



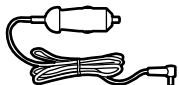
アンテナユニットステー



メインユニット用バッテリー (1個)



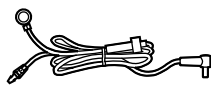
シガープラグコード



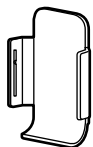
平型ヒューズ付きコード
(大×1、小×1)



電源配線ユニット



リモコンホルダー (1個)



コードクランプ (4個)

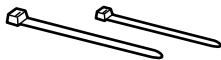


SD カード (128MB)
CSD12874



※出荷時本体に
セットされています。

インシュロック
(大2個、小5個)



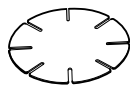
メインユニット固定用 /
アンテナユニットステー固定用
両面テープ (2枚)



アンテナユニット固定用
両面テープ (1枚)



本体ステー固定用
両面テープ (1枚)



リモコンホルダー固定
用両面テープ (1枚)



外部スイッチ固定用
両面テープ (1枚)



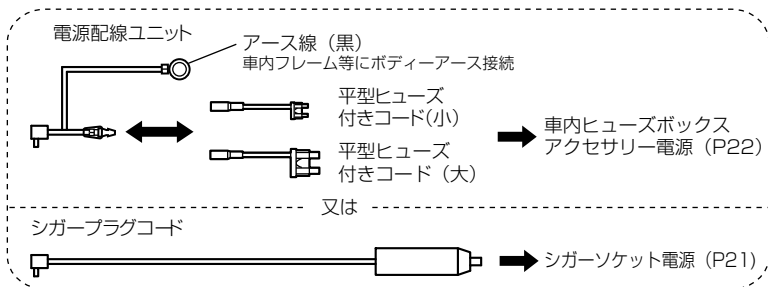
ビューワーソフト
(CD-ROM)



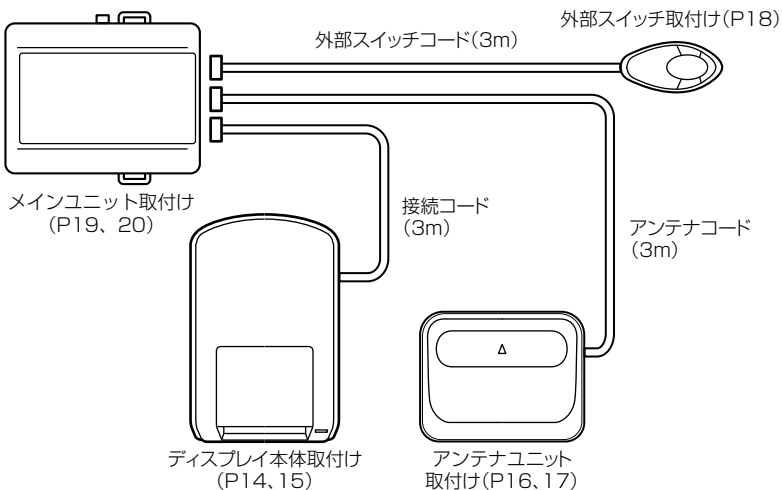
ご使用にあたって

はじめに

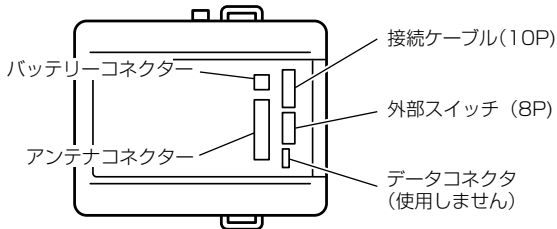
■配線



●配線取付けイメージ



●メインユニットコネクタ配置図



GPS 機能について

● GPS とは

「Global Positioning System」アメリカ国防総省の衛星を利用し、地上での現在位置を計測するシステムです。

● GPS レシーバーの警報システム

衛星からの電波を受信して現在位置・移動方向・移動速度を算出し、あらかじめ登録してある各データ（座標データ等）とを比較演算し、接近すると警報を行います

● 衛星受信開始時間／受信復帰時間

GPS レシーバーの電源 ON から衛星受信を行う迄の時間と走行中、トンネル・高架下・屋内等で一時的に GPS 衛星が受信できない場所から受信できる場所へ移動した時、再受信するまでの時間。

（高架下等にオービスがある場合は衛星受信ができず、警報が行えない場合があります。注意してください。）

受信開始時間

| 衛星受信できない状態 | 衛星受信迄の復帰時間 |
|------------|------------|
| 10 秒以下 | 2 秒程度 |
| 10 秒～ 60 秒 | 5 秒程度 |
| 60 秒以上 | 10 秒以上 |

受信復帰時間

| 前回、電源 OFF してからの時間 | 衛星受信迄の時間 |
|-------------------|----------|
| ～ 5 時間 | ～ 10 秒程度 |
| ～ 数日間 | ～ 1 分程度 |
| ご購入後又は、1ヶ月程度以上 | ～ 5 分程度 |

※参考数値です。実際の使用される場所により時間は異なります。

● 衛星データ

本製品は、一旦 GPS 衛星を正常に受信した後、衛星の移動軌跡を計算し記憶します。これは走行時にトンネル等で衛星受信ができなくなった場合、再受信するまでの処理を速める為です。また、まれに GPS 受信が長時間に渡ってできない場合があります。

● GPS 測定誤差について

本製品の測位計測機能は衛星の受信状態等により、約 50m 程度の測定誤差が出る場合があります。

● GPS 衛星受信と車載電子機器

車載テレビ等で UHF56 チャンネルを受信（設定）している時やナビゲーション本体や、衛星放送受信機等の車載電子機器からの漏れ電波により、GPS 衛星を受信できないことがあります。そのような場合、車載電子機器から離し GPS 衛星の受信に影響のない箇所へ本製品を取付けてください。

ご使用にあたって

データ更新について

本製品の登録データは最新バージョンへの書き換えが可能です。(有料)
最新バージョンデータのリリースについては、販売店店頭・コムテックホームページにてお知らせ致します。

ホームページアドレスは <http://www.e-luxion.com/> です。

- ※ 今現在でも新たにオービス・Nシステムが増設されており、また調査箇所以外にもオービス・Nシステムが設置されている可能性があります。お車を運転するときは安全の為、必ず法定速度内で走行してください。
- ※ データ更新をする際はメインユニットを送って下さい。SDカード、ディスプレイ本体だけでは更新できませんのでご注意ください。

液晶ディスプレイについて

液晶ディスプレイは周囲の温度が約 75℃以上になると、ディスプレイの全体が黒くなったり、約 -10℃以下になると表示する文字、イラストが遅れて表示したり、表示した物が消えるのに時間がかかったりします。これは液晶ディスプレイの特性であって故障ではありません。周囲の温度が液晶ディスプレイの安定作動する温度になると元の状態に戻ります。

SDカードについて

SDカードは必ず付属品 (P9) をお使いください。追加で購入される際は、販売店より弊社へご注文ください。
弊社指定以外のSDカードをご使用いただいた場合、正常に作動しないことがありますのでご注意ください。

品番 CSD12874 オープンプライス

取付けの前に

ディスプレイ本体の取付け

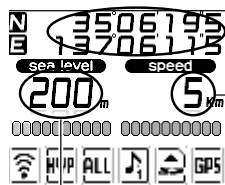
- 運転や視界の妨げにならず、車両の機能（エアバッグ等）に影響のない場所に取付けてください。
- 本製品の取付ける場所、角度によって液晶の特性上、液晶ディスプレイが見えにくくなる場合があります。

アンテナユニットの取付け

- GPS の受信状況を確認するために「GPS 感度確認モード」を用意しています。本機能を利用してアンテナユニットの設置及び配線の取り回しを行ってください。

GPS 感度確認モードの入り方

- ①キーを ON にし、待機画面中（起動より 1 分以内）にリモコンのダウンスイッチを**長押し**してください。
- ②下記の様な画面が表示されることを確認してください。
※ A エリアが表示されてから調整を行なってください。初めて使用される場合は GPS を受信するまでにしばらく時間がかかる場合があります。



[Aエリア]
GPSデータを基に現在の緯度経度を表示します。

[Cエリア] ※数字が5以上になるように設置してください。
現在のGPS受信数を表示します。
(speedの画面に表示されます)

[Bエリア] 数字が200以上になるように設置してください。
GPS衛星の受信レベルを表示します。(sea levelの画面に表示されます)

- ③周りに高い建物等（鉄道や道路の高架下・木々の多い森の中）がない場所で、衛星の受信レベル（B エリア）が 200 以上、受信数（C エリア）が 5 個以上を表示する場所にアンテナユニットの設置及び配線の取り回しを行ってください。
- ④確認後、キーを OFF にしてください。

⚠ 注意

- 画面表示が「OFF」または「カメラ表示」になっていると GPS 感度確認モードには入れません。（画面表示がされません）
- GPS 感度確認モード中は他の動作はできません。必ずキーを OFF にし、再度キーを ON にしてから使用してください。
- 本モードでの走行はおやめください。思わぬ不具合や故障の原因となります。
- お車によってはダッシュボード上で安定して受信できる設置場所が探せない場合があります。その場合はミラー裏側やルーフ等に設置し確認してください。

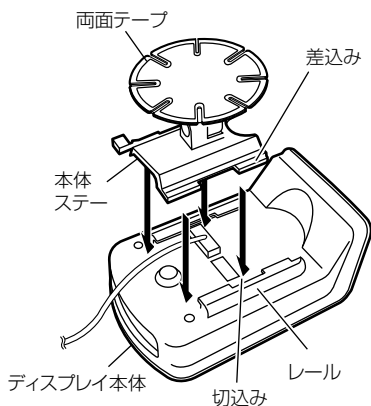
取付け方法

ディスプレイ本体の取付け（仮固定）

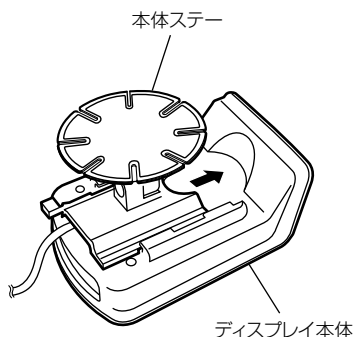
■本体ステーの取付け方法

本体ステーに両面テープを貼り付け、ディスプレイ本体へセットしてください。
※カメラ方向の調整があるため両面テープの剥離紙は剥がさず、仮固定してください。

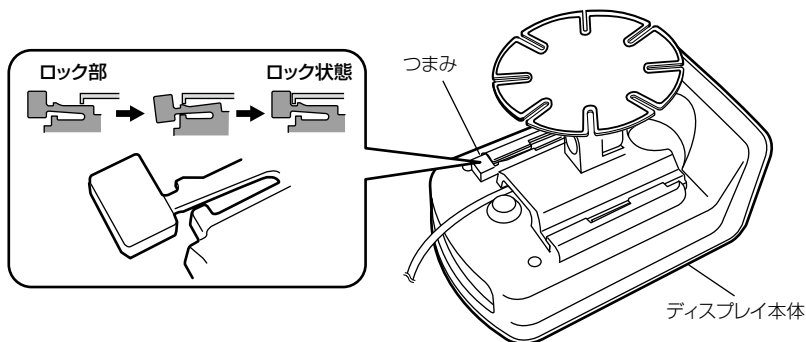
- 1** ケーブルをコネクタに差し込み、本体裏のレール切欠きに本体ステーの差込みを合わせます。



- 2** 本体ステーを矢印方向にスライドさせます。



- 3** ロック部のツメがレールの端でロックするまで押込みます。



※ 本体ステーを取り外す場合は、ツメ部後方のつまみを内側に押し込んでロックを解除した後、レールから引抜いてください。

※ ケーブルのかみ込みにご注意ください。

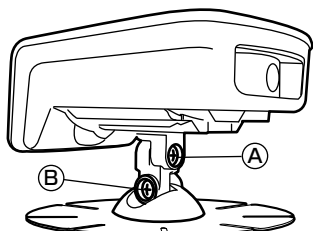
取付け方法

■本体ステーの調整方法 (両面テープを剥す前に必ず取付けステーの角度を調整してください)

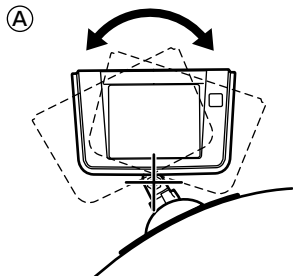
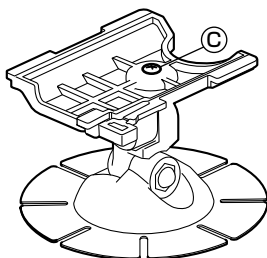
本体ステーは平面及び、曲面に取付けることができます。取付ける位置を決めたらスクリュー①、②をゆるめて角度を調整し、液晶ディスプレイを見やすい位置で固定してください。

画面の向きを調整する場合は、ディスプレイ本体をステーから取外してステー上面のスクリュー③をゆるめ、ステー上面の向きを調整してください。

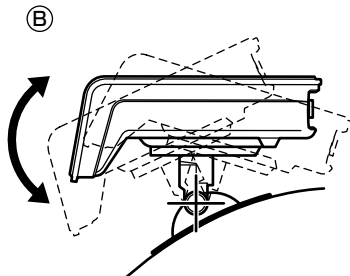
※ カメラ映像のブレの原因になりますので、定期的にスクリュー①②③のネジを締めなおしてください。



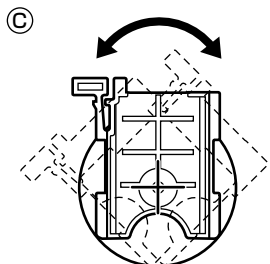
※ ②のステーを外すことでディスプレイ本体の高さを低くすることができます。



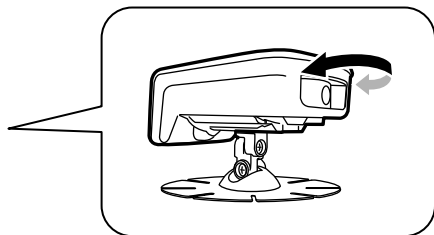
液晶ディスプレイを裏面から見た図



液晶ディスプレイを側面から見た図



ステーを上から見た図



取付け方法

アンテナユニットの取付け

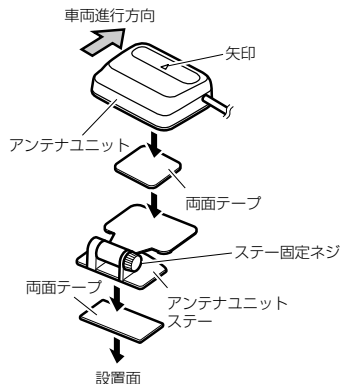
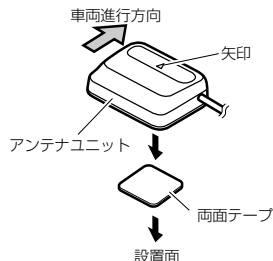
アンテナユニットはダッシュボード、ルームミラー裏側、ルーフ等のできるだけ GPS 衛星からの信号を受けやすく、運転や視界の妨げにならない場所に取り付けてください。なお、取付ける際にはアンテナユニットの矢印が車両進行方向になるようにして、道路に水平に取り付けてください。

アンテナユニットを直接、設置面に取付けた場合、道路に水平にならない時はアンテナユニットステーを使用してください。

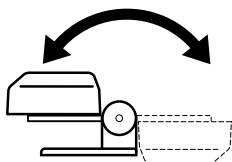
アンテナユニットとディスプレイ本体はノイズ防止のため、30cm 以上離して取付けてください。

※ アンテナユニットステーを使用して取付けた場合、道路に水平になるようにステー角度を調整して、ステー固定ネジを手でしっかり締めてください。

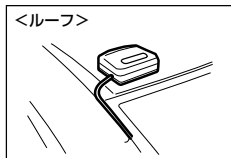
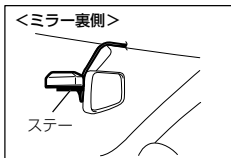
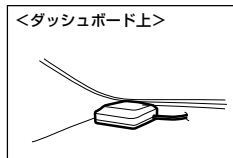
<ステーを使用した場合>



<ステーでの調整範囲>



取付け例

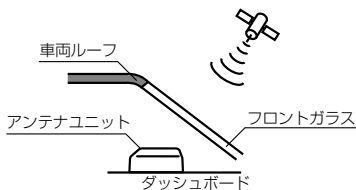


⚠ 注意

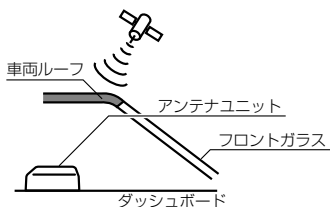
- ・ アンテナユニットを固定する際には、濡れたタオルなどでダッシュボード上を拭いて、ダッシュボードをきれいにしてから固定してください。
- ・ 断熱ガラス車のダッシュボード上には、取付けしないでください。GPS 衛星を受信できず、正常に動かない可能性があります。
- ・ ルーフにアンテナユニットを取付けた場合は、雨水等が車内に入らないように、アンテナユニットのコードはドア下側から車内へ配線してください。
- ・ アンテナユニットに雪が積もると受信できません。雪を取り除いてください。
- ・ ルーフにアンテナユニットを取付けた場合は、洗車機の使用はお控えください。もし使用される場合はガムテープ等で補強してください。
- ・ アンテナユニットのコードを車外でたるませたままにしないでください。
- ・ アンテナユニットのコードはテレビ・ラジオのアンテナコードから離してください。
- ・ アンテナユニットを取外す時、アンテナユニットのコードを引っ張らないでください。
- ・ 配線時、ドアのヒンジ等車の稼働部と干渉しないように注意してください。
- ・ 車両の機能（エアバッグ等）に影響のない場所に取付けてください。
- ・ アンテナユニットの上方向、前方向に遮断物がない場所に取付けてください。
- ・ アンテナユニットは他の GPS アンテナ、電子機器などから、ノイズ防止のため 30cm 以上離してください。
- ・ フロントガラスへは取付けしないでください。

< GPS 衛星からの受信例 >

○ 障害物がないので電波の受信ができる



✗ 車両ルーフによって電波が受信できない



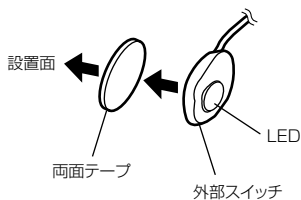
取付け方法

外部スイッチの取付け

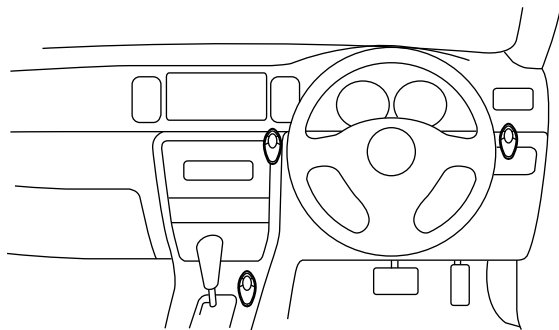
外部スイッチを操作しやすい場所に取り付けてください。

⚠ 注意

本体作動状況を外部スイッチ LED で表示するため、LED が見やすい場所に取り付けてください。



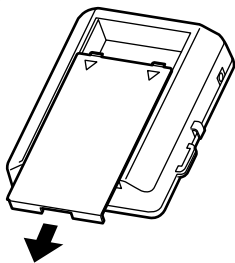
<取付け例>



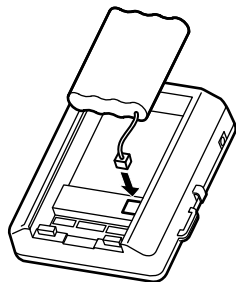
※外部スイッチ固定後、メインユニットへ接続してください。

メインユニットの取付け

- 1** メインユニットのバッテリーカバーを矢印の方向へスライドさせて外してください。

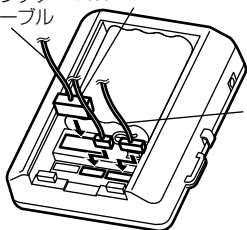


- 2** バッテリーコネクタを接続してケース内にバッテリーを入れてください。



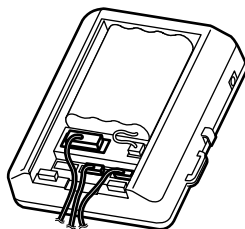
- 3** ディスプレイ本体、アンテナユニット、外部スイッチのコネクタを接続してください。(P10 参照)

GPSアンテナケーブル
外部スイッチケーブル

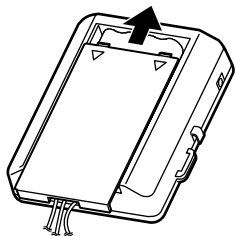


本体接続ケーブル

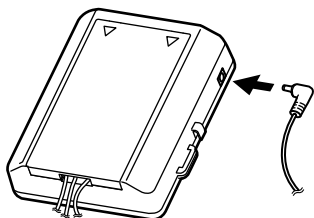
- 4** ディスプレイ本体、アンテナユニット、外部スイッチのケーブルを引き出し位置に合わせてください。



- 5** メインユニットのバッテリーカバーを矢印の方向へスライドさせて取付けてください。
△ ケーブルをかみ込まないように注意してください。

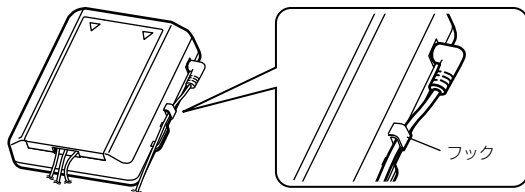


- 6** メインユニットの電源ジャックに、付属のシガープラグコードを差込んでください。



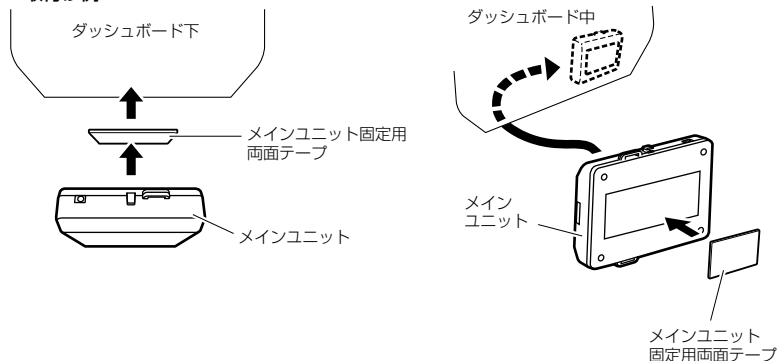
取付け方法

7 コードフックにコードを合わせてください。



8 メインユニットは、車内で運転の妨げにならず、ヒーターの熱風を直に受けないダッシュボード下、ダッシュボード中等に両面テープ又はインシュロックで、確実に取付けてください。

<取付け例>



※ディスプレイ本体とメインユニットはノイズ防止のため30cm以上離して下さい。

⚠ 注意

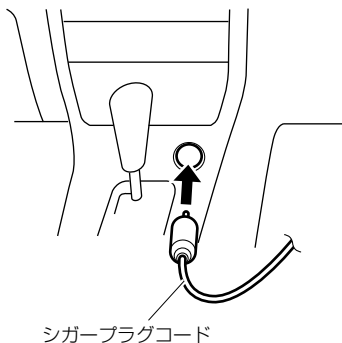
- コネクタには極性がありますのでコネクタの凹凸に合わせてください。
- 内蔵バッテリーは消耗品です。定期的に新しいバッテリーへの交換をおすすめします。(バッテリーの寿命の目安は使用状況にもよりますが約2～3年です。)
- 内蔵バッテリーが消耗しているとバックアップ機能 (P51) が正常に作動しない事があります。

※内蔵バッテリーの交換を行うと時刻に関する情報はリセットされます。

シガープラグコード、電源配線ユニットの取付け

◇電源をシガープラグコードで取る場合

車両シガーソケットに付属のシガープラグコードを差込んでください。



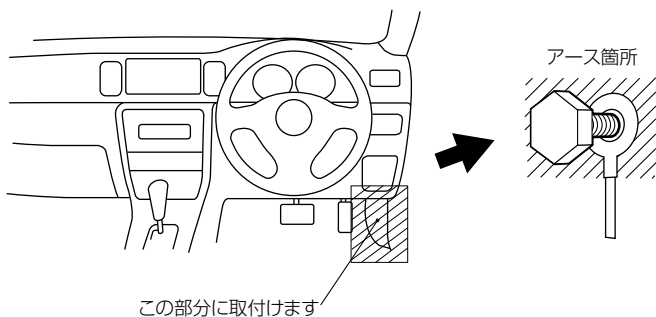
◇電源を直結する場合

電源配線ユニットのアース端子を、塗装されていないボディまたはフレームのビス等へ確実に共締めしてください。

⚠ 注意

- ・ アース端子とフレームの間に樹脂、塗装等があると、確実なアースがとれません。
- ・ 不適切な場所へアース端子を取付けると、動作が不安定になることがあります。

<取付け例>



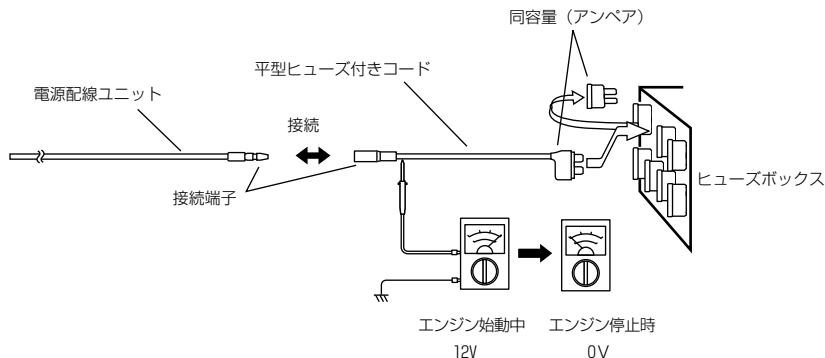
取付け方法

平型ヒューズ付きコードの取付け、配線

平型ヒューズ付きコードは、大小の2種類あります。車両のヒューズサイズに合わせて電圧がキーをONに回して12V、キーを抜いて0Vを出力するヒューズと差換え、電源配線ユニットの接続端子と差換えた平型ヒューズ付きコードの接続端子を接続してください。

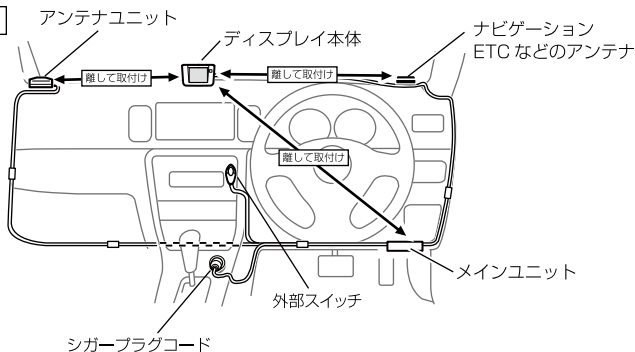
※必ず同じ容量（アンペア）のヒューズと差換えてください。

車両に同じ容量（アンペア）のヒューズが無い場合は、市販されている同じ容量の平型ヒューズ付きコード等をご使用ください。



メインユニットに接続ケーブルのコネクタを接続し、コードクランプ等を使用して、運転の妨げにならないように、きれいに配線してください。

取付け例



※各ユニットはノイズ防止のため、30cm以上離して取付けてください。

※他の配線と一緒に束ねたりしないで下さい。

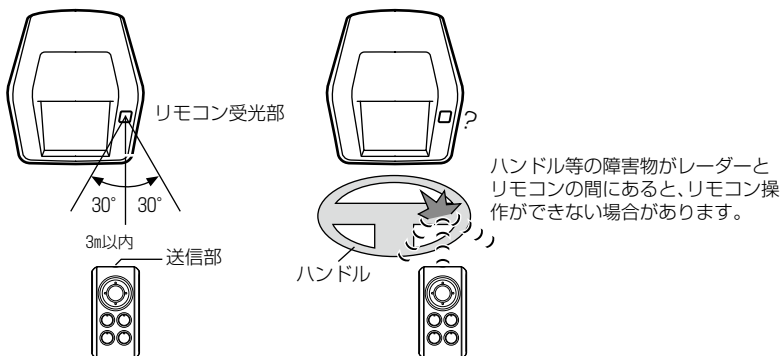
リモコンについて

⚠ 注意

本製品はリモコン無しで本体を操作（設定等）することはできません。

● リモコン使用範囲について

リモコン操作ができるのは、リモコン受光部から水平左右 30 度、直線距離約 3m です。リモコンとディスプレイ本体の間に障害物があると、操作できない場合があります。



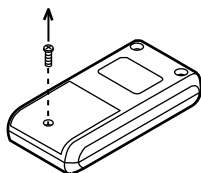
● リモコンの電池交換

リモコンの電池寿命はご使用状態によって変わりますが、1日10回のスイッチ操作で約2年です。リモコンが作動しない、又は操作が鈍くなったなどの場合は、リモコンの電池交換をしてください。

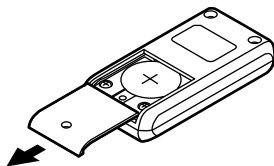
取付け方法

■電池の交換方法

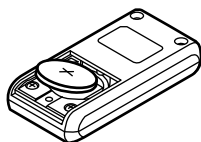
1 電池カバーのネジを外します。



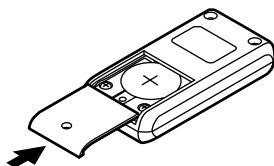
2 電池カバーを矢印の方向へスライドさせて外します。



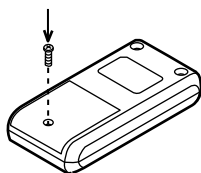
3 古い電池を取り出し、新しい電池 (CR2025 × 1 個) を+ (プラス) 面を上にして入れます。



4 電池カバーを矢印の方向へスライドさせて取付けます。



5 電池カバーのネジを締めます。



⚠ 注意

電池の上下を間違えて入れると、故障する恐れがありますのでご注意ください。

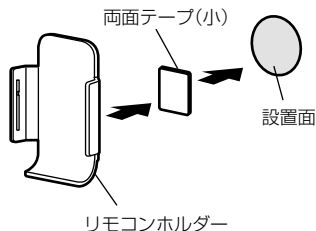
取付け方法

●リモコンの固定

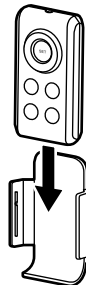
リモコンを使いやすいように、リモコンホルダーをダッシュボードやフロアコンソールに固定してください。

※ リモコンは図のようにリモコンホルダーの上からスライドさせて、リモコンを収納させます。

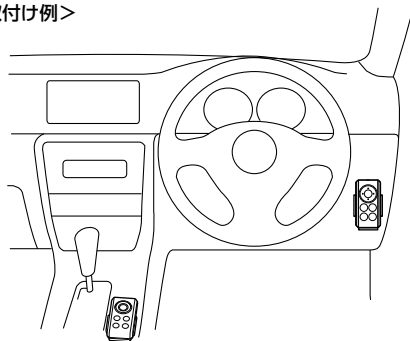
<リモコンホルダーの取付け>



リモコンの収納方向



<取付け例>



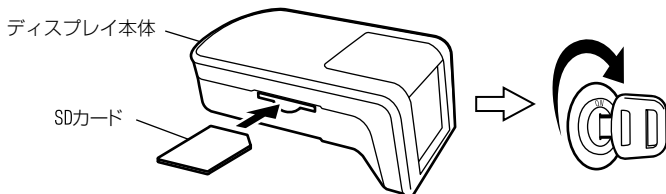
⚠ 注意

- ・ リモコンを紛失した場合は、販売店でリモコンをご購入ください。
リモコン型式名「RRE-X704」
- ・ 指定以外（CR2025 を 1 枚）の電池を使用しないでください。
- ・ 落としたり、衝撃を与えないでください。
- ・ リモコンは防水ではありませんので水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。
- ・ 分解しないでください。
- ・ 高温になる場所、直接日の当たる場所等に置かないでください。

取付け方法

作動確認

- 1 キーを ON まで回し、エンジンを始動してください。



※必ず SD カードが入っていることを確認してください。

- 2 液晶ディスプレイが表示します。
(オープニング画面を表示してから、待機画面を表示します。)
- ※ システムチェックを行っていますので、画面がでるまでに時間がかかる場合があります。
チェック中は外部スイッチの LED が赤く点灯します。



※ 初めて使用する時や車両のバッテリーを交換した時など「40 バッテリー異常」、
「00 時刻未設定異常」が出るがありますが異常ではありません。

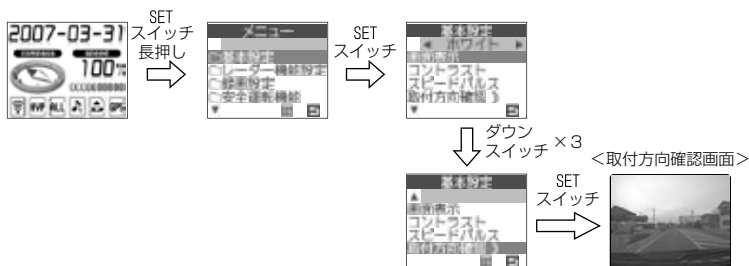
Q: エラー表示しますか？



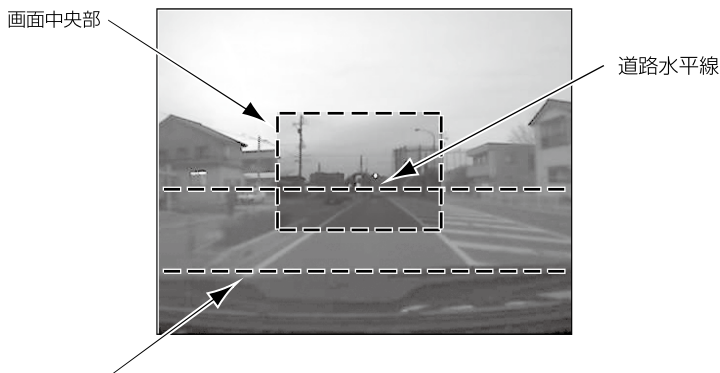
※ SD カードが入ってないと全ての機能は使用できません。

取付け方法

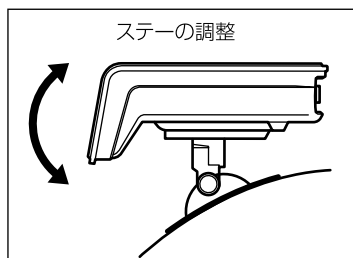
- 3** リモコンのSETスイッチを**長押し**して、メニュー画面に入り、「基本設定」画面から「取付方向確認」画面へ入ってください。



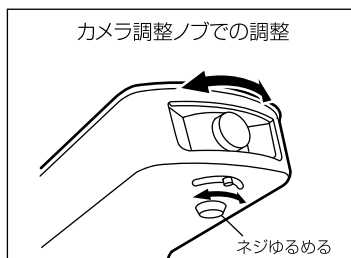
- 4** 取付方向確認画面中央部に道路の水平線が合うように、ステーの調整及びカメラ調整ノブでの調整を行なってください。



※目安としてダッシュボードの映り込みが、全体の1/5以下になるように設置して下さい。



ステーの調整

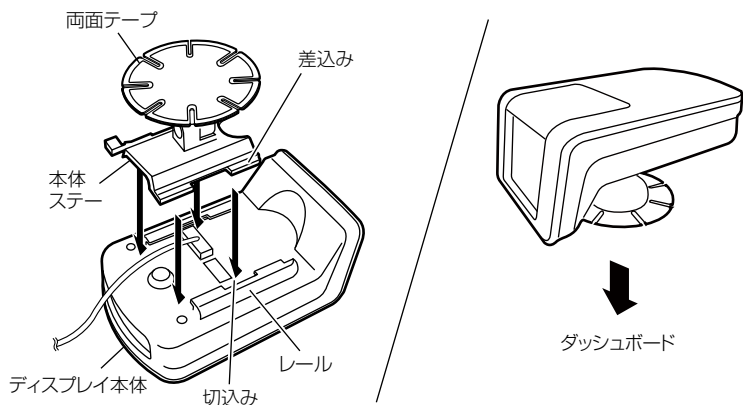


カメラ調整ノブでの調整

※ リモコン操作で終了するか操作を何も行なわないと、約10分後に待機画面に戻ります。

取付け方法

- 5** カメラ固定ネジを締めなおし、再度本体ステーを取付けし、ディスプレイ本体をダッシュボードへしっかり固定してください。(P15 参照)



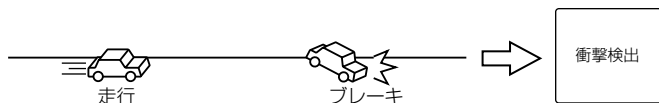
⚠ 注意

調整したカメラ位置が変わらないように、気をつけてカメラ固定ネジの締めなおし、ダッシュボードへの取付けを行ってください。

- 6** 設定を終了するには、①リモコン SET スイッチ **長押し** をする、②リモコンの戻るスイッチ (⏪) を押し設定メニューを終了する、③操作をしないまま 60 秒間経過すると設定を終了することができます

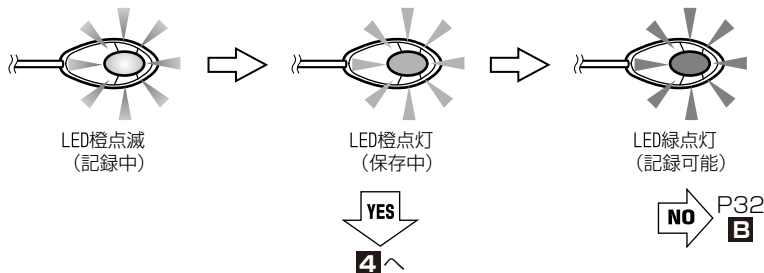
7 [ブレーキでの確認]

必ず周囲の安全を確認したうえで走行し、強めのブレーキをかけ映像を記録することを確認してください。



Q: 映像が記録されますか？（下のように LED 表示をしますか？）

外部スイッチLED表示



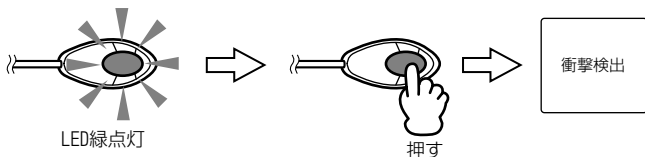
⚠ 注意

- ・ ショックレベルの感度が高い設定になっている場合、頻繁に映像を記録することがあります。この場合は、走行状況に応じてショックレベルを変更してください。
- ・ 映像の「記録中」、「保存中」又は設定メニュー画面では、新しい映像を記録することはできません。
- ・ 映像データの容量が許容範囲を超えると、古いデータから上書きして新しいデータを記録します。
- ・ 液晶ディスプレイにエラー表示又は外部スイッチ LED が赤点灯及び赤点滅した場合は、映像を記録することはできません。エラーを解除してください。(P31、P111 参照)
- ・ 衝撃が検出できなかった場合、外部スイッチを押して映像を記録してください。

取付け方法

8 [外部スイッチでの確認]

外部スイッチ LED が緑点灯していることを確認したうえで、外部スイッチを押し、映像を記録することを確認してください。



※ 外部スイッチ操作での記録を行った場合、SD カードのアイコンが点灯します。SD カードのアイコンを消去する方法は P58、59 参照。



Q: 映像が記録されますか？



全ての動作は正常です。



9 取付け完了

取付け完了後、内蔵バッテリー の初期充電を行ってください。初期充電は、エンジンをかけた状態で約 1 時間以上、充電を行ってください。

※ 取付け後、内蔵バッテリーの充電が不十分な間は「40 バッテリー異常」が出ることがありますが異常ではありません。バッテリーの充電を行ってください。

作動確認 対処方法

下記の **A** ~ **C** の各対処方法を行った場合は、再度作動確認を **1** から行ってください。

※ エラーが出た場合はキーを OFF にし対処してください。電源が入ったまま対処してもエラーは解除されません。

| エラー No. | エラー表示 | エラー表示別対処方法 | 外部スイッチ LED 表示 |
|----------------------|------------|---|---------------|
| 21 | SD カード確認 | SD カードは入っていますか？ | 赤点灯 |
| 22 | | SD カードの書き込み禁止スイッチが ON になっていませんか？ | 赤点灯 |
| 60 | SD カード異常 | SD カードへの書き込みができない状態です。パソコンで SD カードのフォーマットを行ってください。 | 赤点灯 |
| 20 23 | SD カード残量異常 | SD カードの容量が少ない、保存ができないため、映像を記録することが出来ません。SD カードのデータをパソコン等へ移動してください。 | 赤点灯 |
| 40 | バッテリー異常 | メインユニット内蔵バッテリーの電圧が低下しています。定期的に内蔵バッテリーの充電を行ってください。 ※ 時刻未設定の場合、「40 バッテリー異常」のエラーがでることがあります。 | 赤点灯 |
| 10 | 機器温度異常 | 本体の使用温度範囲を超えています。しばらく時間を置いてからご使用ください。 | 赤点灯 |
| 00 | 時刻未設定異常 | 本体の現在時刻が認識されていません。再度キーを ON にし、衛星を受信させてください。 ※ 現在時刻未認識のまま映像を記録した場合、表示が異なります。 | 赤点灯 |
| 70 | 機器異常 | 外部スイッチが押されたままになっている、配線のかみ込み等の確認をしてください。 | 赤点滅 |
| 90 91 92 93 | | キーを OFF にし、メインユニット内蔵バッテリーを外し、リセットを行って下さい。 症状が改善されない場合は、購入された販売店へご相談下さい。 | 赤点滅 |
| 30 | | 外部スイッチの配線、設定等の確認をしてください。 | 赤点灯 |
| 31 | | 車両情報ユニットの配線、設定等の確認をしてください。 | |
| 50 | | メインユニットの配線、設定等の確認をしてください。 | |

※ 「40 バッテリー異常」「00 時刻未設定異常」は、初めて使用する時は本体が設定されていないため必ず出るエラーです。

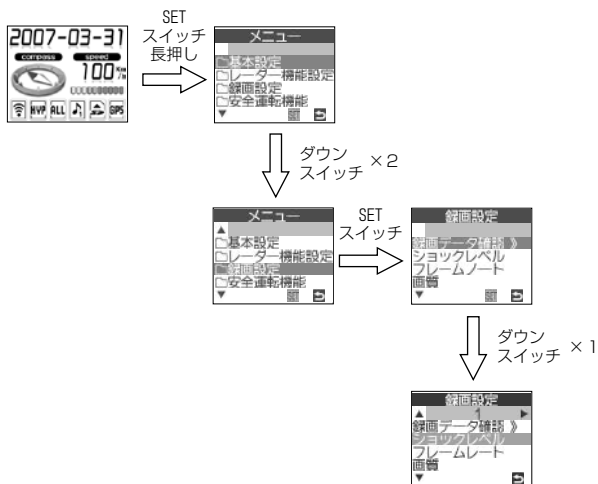
確認後、P26 **2** へ

取付け方法

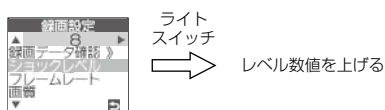
- B** 1. キーを ON にして、本体電源を ON にしてください。



2. SET スイッチを長押しして、メニュー画面に入り、「録画設定」より「ショックレベル (P62)」の設定へ入ってください。



3. ショックレベルの設定 [初期設定 8] を、現在の設定数値より、大きい数値に変更してください。



設定終了後待機画面に戻ります。

確認後、P29 **7** へ

- C** 外部スイッチの接続が正しくされているか確認してください。

確認後、P30 **8** へ

外部スイッチ LED 確認

外部スイッチのLED表示で、本体状況が確認できます。

| 外部スイッチ LED 表示 | 本体状況 | 対処方法 |
|------------------|-------------|--|
| 緑点灯 | 正常動作 | 対処不要 正常動作しています。 |
| 緑点滅 | 準備中 | |
| 橙点灯 | 映像を保存中 | |
| 橙点滅 | 映像を記録中 | |
| 赤点灯 | 初期チェック中／要点検 | LEDが赤点灯、赤点滅の場合は、エラー表示が できます。そのエラー表示の 対処方法を行ってください。 (P31、P111) |
| 赤点滅 | 異常 | |

機能及び操作方法

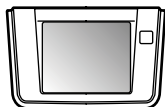
電源を ON にする

1 キーを ON にまわす。



- ※ 各ユニットが、正しく接続されていることを確認してください。
- ※ SD カードが入っていないと全ての機能は使用できません。

2 液晶ディスプレイが表示します。



○液晶ディスプレイが表示してから、約数秒～数分で GPS 衛星を受信し、下記の音声アナウンスと液晶ディスプレイにイラスト表示を行います。

※エラーが表示される場合は P31、P111 をご覧ください。

「ピコーン ピコーン 衛星を受信しました。」

GPS 衛星受信した時の液晶表示

GPS

GPS 衛星を受信できないと…

○液晶ディスプレイが表示してから約 3 分間、衛星を正確に受信ができていない場合は、下記の音声アナウンスを行います。

「ピコーン ピコーン 衛星を受信できません。」

GPS 衛星受信できない時の液晶表示

GPS

※アナウンス後、衛星を受信すると「ピコーン ピコーン 衛星を受信しました」とアナウンスして衛星受信状態になります。

◇衛星を受信できない場合、下記の原因が考えられます。

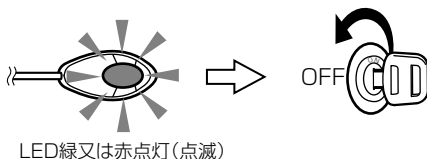
- ①フロントガラスが断熱ガラス（金属コーティング・金属粉入り等）
- ②ミラー式フィルム装着車の場合

※ GPS 機能についての詳しい内容は P11 「GPS 機能について」をご覧ください。

- ※ 本製品作動中は SD カードの抜き差しを行わないでください。SD カード破損、データ消失、本体故障の原因となります。
- ※ 本体が終了しないうちに、再度 ACC 電源を入れると設定値が保存できない場合があります。

電源を OFF にする

- 1 外部スイッチ LED が緑色又は赤色に点灯・点滅中に、キーを OFF にまわす。



LED緑又は赤点灯(点滅)

⚠ 注意

下記の場合には、キーを OFF にしないでください。故障の原因となります。

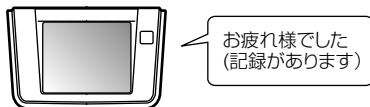
- ・ 液晶ディスプレイに「記録中」又は「保存中」と表示している時



- ・ 外部スイッチ LED が橙色に点滅又は、点灯している時（映像を記録中又は、保存中）



- 2 「お疲れ様でした」とアナウンスして、液晶ディスプレイの表示が消えます。
※ 記録映像がある場合に電源を OFF すると、「お疲れ様でした 記録があります」とアナウンスします。（画面が消えるまでに数秒かかることがあります）



⚠ 注意

SD カードを抜く時は、液晶ディスプレイの表示が消えてから抜いてください。
液晶ディスプレイが表示している状態で SD カードを抜くと、本体故障や SD カード破損の恐れがあります。使用しない時は SD カードを抜いてください。

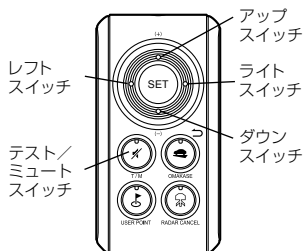
- ※ SD カード内の記録映像が多い場合、電源を OFF にすると「システムチェック中しばらくお待ち下さい」の画面が表示されることがあります。

機能及び操作方法

■ テスト機能、音量調整、輝度調整

● テスト機能、音量調整、輝度調整とは…

本製品がどのような音量で警報するのかを確認することができます。



■ テスト機能を使用する

本体を ON にして、液晶ディスプレイが待機画面を表示したことを確認してから、リモコン (※) 【テスト】スイッチを押すと、テスト機能が作動します。



効果音 カーロケ無線を受信しました。

※テスト中の速度表示は実速度を表示します。停車時、未測位時は「0km/h」「・・・km/h」で表示されます。

■ 音量を調整する

待機画面時にリモコンのアップスイッチ、ダウンスイッチで 16 段階の音量調整ができます。液晶ディスプレイを確認しながら、適度な音量に調整してください。



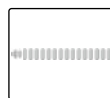
ビッピッ

音量小

ピッ、ピッ・・・

16段階で調整できます

音量大



ビッピッ

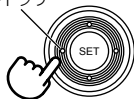
ダウンスイッチで音量が小さくなります
※音量を最小にすると消音になります。

アップスイッチで音量が大きくなります

■輝度を調整する

待機画面時にリモコンのレフトスイッチ、ライトスイッチで16段階の液晶ディスプレイ輝度調整ができます。液晶ディスプレイの表示を確認しながら、調整してください。

レフト
スイッチ



ピッピッ

輝度
暗

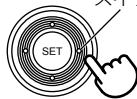
ピッ、ピッ・・・

16段階で調整できます

輝度
明

レフトスイッチでディスプレイ
表示が暗くなります

ライト
スイッチ



ピッピッ

ライトスイッチでディスプレイ
表示が明るくなります

- ※ 輝度調整中に、表示されている画面の更新はしません。
- ※ 輝度調整は昼表示、夜表示の両方の調整が可能です。

機能及び操作方法

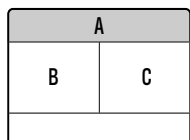
画面表示について

■待機画面表示

液晶ディスプレイの待機画面の表示詳細を設定することができます。

◇ A エリア

アップスイッチを長押しすることで A エリアの表示内容が変更されます。



Aエリアを選択
アップスイッチ
長押し

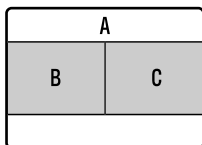
カレンダー／緯度・経度／カレンダー＋時計のいずれかを表示します。

- ・ カレンダー …… 西暦年月日を表示します。
- ・ 緯度・経度 …… GPS 位置データを基に、現在の緯度・経度を表示します。
- ・ カレンダー＋時計 …… 月日、時刻を表示します。



◇ B、C エリア (B、C エリアを同一画面にすることはできません)

レフトスイッチ (ライトスイッチ) を長押しすることで、B エリア (C エリア) の表示内容が変更されます。



Bエリアを選択
レフトスイッチ
長押し

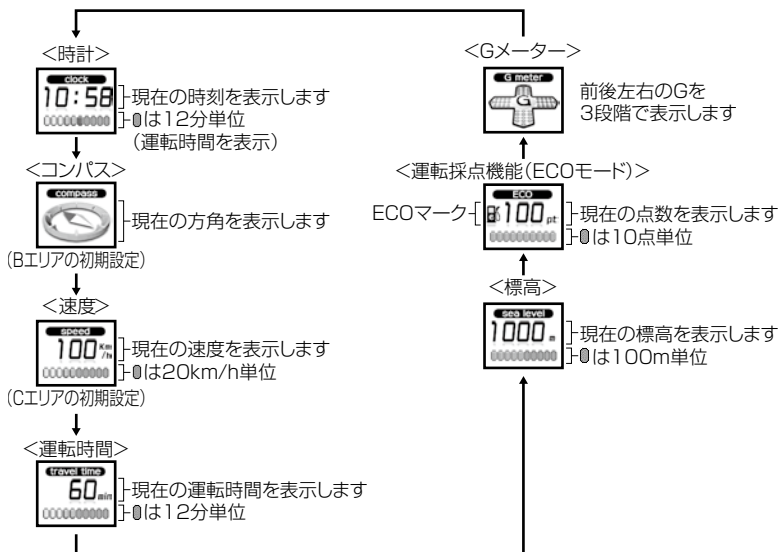



Cエリアを選択
ライトスイッチ
長押し

時計／コンパス／速度／運転時間／標高／運転採点機能 (ECO モード) / Gメーターのいずれかを表示します。

- ・ 時計 …… GPS データを基に、現在の時刻を表示します (1分単位)
- ・ コンパス …… GPS 位置データを利用して、現在の進行方向(16 方位)を表示します。
- ・ 速度 …… GPS データを基に、現在の車両速度を表示します (1km / h 単位)
- ・ 運転時間 …… キーを ON にしてからの時間を表示します (1分単位)
- ・ 標高 …… GPS 位置データを利用して、現在の標高を表示します (1m 単位)
- ・ 運転採点機能 (ECO モード) …… キーを ON にしてから OFF にするまでの間の運転を採点します (1点単位)
- ・ Gメーター …… 本体内蔵のセンサーに掛かる「G」を画面上に表示します (各3段階)





機能及び操作方法



運転採点機能…効率のいい運転をしているとECOマーク  が点灯します。省燃費運転の目安にしてください。

機能及び操作方法

■アイコン表示

| アイコン | アイコン説明 | 参照ページ |
|---|---------------------|--------|
|  | GPS 衛星 受信中 | P34 |
|  | GPS 衛星 未受信 | P34 |
|  | LSC 作動中（警報しない） | P76 |
|  | LSC 解除（警報する） | P76 |
|  | レーダー感度 LOW（ロー） | P75 |
|  | レーダー感度 HI（ハイ） | P75 |
|  | レーダー感度 S-HI（スーパーハイ） | P75 |
|  | レーダー感度 HYPER（ハイパー） | P75 |
|  | ロードセレクト オールモード | P43 |
|  | ロードセレクト シティモード | P43 |
|  | ロードセレクト ハイウェイモード | P43 |
|  | ブザー（警報音） | P77 |
|  | メロディ 1（警報音） | P77 |
|  | メロディ 2（警報音） | P77 |
|  | メロディ 3（警報音） | P77 |
|  | 削除禁止画像あり | P54、61 |
|  | 削除禁止画像なし | P54、61 |
|  | 駐禁マーク | P90 |

おまかせカンタン設定

■各モードの説明

リモコン操作で下記の設定を簡単に変更できる機能です。3種類の中から選んで設定できます。

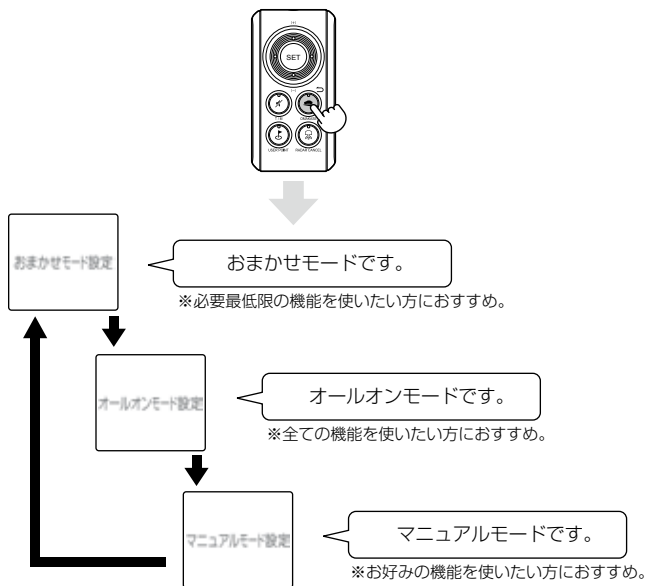
- おまかせモード** …… 一般的によく使用する機能のみ ON、HI にします。
- オールオンモード** … 全ての設定を ON、HI に設定します。
- マニュアルモード** … P66～70 で選んだ設定になります。

※ 工場出荷時、オールリセット (P78) の時はマニュアルモードになります。(各設定の内容はオールオンモードの内容になります)

■設定方法

※ 電源を ON (P34) にして、設定してください。

【おまかせ】スイッチを長押しする毎に、おまかせモード→オールオンモード→マニュアルモード (以降繰り返し) の順番に設定されます。



※ 設定メニュー内でレーダー機能を変更した場合、メニューを終了した後、「マニュアルモードです」とアナウンスされます。

機能及び操作方法

◇モード設定で下記表の設定になります

| | 機能 | おまかせモード | オールオンモード | マニュアルモード |
|--------|-----------|------------|------------|---|
| 無線警報 | カーロケ | HI | HI | P66～70の設定になります。オールリセット、工場出荷時の内容はオールオンモードの内容になります。 |
| | 350.1MHz | | | |
| | デジタル | | | |
| | 取締特小 | OFF | | |
| | 署活系 | | | |
| | ワイド | | | |
| | 警察/消防ヘリテレ | | | |
| | レッカー | | | |
| | 新救急 | | | |
| | 消防 | | | |
| | 高速管理車両無線 | | | |
| | 警察活動無線 | | | |
| | 警備無線 | | | |
| GPS警報 | チェックポイント | ON | ON | |
| | 駐車監視エリア | OFF | | |
| | ポリスエリア | | | |
| | 事故ポイント | | | |
| | SA/PA/HO | | | |
| | Nシステム | | | |
| | 道の駅ポイント | | | |
| | 急カーブポイント | | | |
| | トンネルポイント | | | |
| | 県境ポイント | | | |
| | 分岐合流ポイント | | | |
| セーフモード | | ALL-ON | | |
| その他機能 | ASC機能 | AUTO (オート) | AUTO (オート) | |
| | LSC機能 | ON | ON | |
| | ロードセレクト | オールモード | オールモード | |

※ 全てのモードでロードセレクトの変更はできます。ただし、マニュアルモード以外はおまかせモードを設定する毎にオールモードになります。

※ 工場出荷時は全ての機能がON又はHIの設定になります。

※ セーフモードをALL-ONに設定した場合、セーフティウィーク期間の間はオールオンモード設定になります。(P91参照)


※ おまかせモード、オールオンモードの設定を変更することはできません。

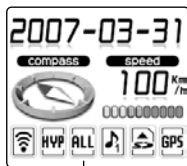
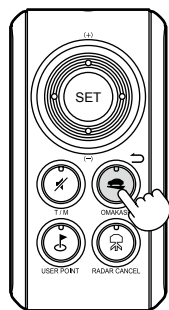
ロードセレクト機能

高速道路上の登録ポイントのみ警報を行う「ハイウェイモード」、一般道路上の登録ポイントのみ警報を行う「シティーモード」、高速、一般道路両方のすべての登録ポイントの警報を行う「オールモード」を選択します。

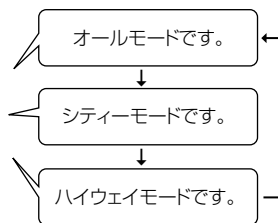
■設定方法

※ 電源を ON (P34) にして、設定してください。

リモコン  【ロードセレクト】スイッチを押す毎にオール→シティー→ハイウェイ（以降繰り返す）の順に設定されます。



現在設定されている表示



下記表を参照し、走行条件に合わせたロードセレクトモードを設定してください。

| ロードセレクトモード | 表示 | 警報を行う道路 | モード確認アナウンスする速度の目安 |
|------------|---|-----------|-------------------|
| オールモード |  | 一般道路／高速道路 | — |
| シティーモード |  | 一般道路のみ | 80km/h 以上 |
| ハイウェイモード |  | 高速道路のみ | 5km/h 以下 |

※ シティモード設定中に走行時速が 80km/h を超えたり、ハイウェイモード設定中に車が停車状態になると、「モード確認をしてください」とアナウンスします。

機能及び操作方法

ユーザー登録ポイント追加／オービス警報キャンセル機能

※ GPS 衛星を受信している時のみ作動する機能です。

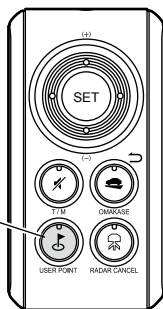
● ユーザー登録ポイントの追加機能とは…

本製品に未登録、又は新たに設置されたオービスを任意に 100 件まで追加登録できます。

⚠ 警告

運転者は走行中に本製品を絶対に操作しないでください。同乗者の方が操作を行ってください。

ユーザーポイント
スイッチ



ユーザー登録ポイント追加方法

- 1 登録したい地点を走行し、**GPS 警報をしていない時に** ⑤【ユーザーポイント】スイッチを押します。
- 2 約 2 秒後に「ユーザーポイント登録しました」とアナウンスされれば登録完了です。

ユーザー登録ポイント解除方法

- 1 登録地点を走行し、**GPS 警報中に** ⑤【ユーザーポイント】スイッチを**長押し**します。
- 2 「ユーザーポイント解除しました」とアナウンスされれば解除完了です。

■オービス警報キャンセル機能

※ GPS 衛星を受信している時のみ作動する機能です。

●オービス警報キャンセル機能とは…

GPS データに登録されているポイントの警報音を、1 件単位でキャンセル設定（消音）することができます。

※ 登録する時にユーザーポイントスイッチを長押しすると、登録できませんのでご注意ください。

警報キャンセル設定方法

1 キャンセル設定したい地点を走行し、**GPS 警報中に** (⓪) 【ユーザーポイント】スイッチを押します。

2 約 2 秒後に「キャンセルしました」とアナウンスされれば設定完了です。

※ キャンセル設定した場合、キャンセル地点走行時はミュートマーク (P104) が表示し警報音が消音します。

※ 工場出荷状態（最初）から登録してあるオービスポイント・N システムで設定ができません

警報キャンセル解除方法

1 キャンセル地点を走行し**ミュートマーク (P104) が点灯中に** (⓪) 【ユーザーポイント】スイッチを**長押し**します。

2 「キャンセル解除しました」とアナウンスされてミュートマークが消灯し、警報音が鳴ります。

◇ユーザー登録ポイント追加、オービス警報キャンセルができない場合…

- GPS 衛星が受信できないと“ピコーン ピコーン 衛星をサーチ中です”とアナウンスされます。
- 一度登録した場所（登録場所から半径約 200m）に再度、登録しようとした場合、“登録できません”とアナウンスされます。
- ユーザー登録ポイントを登録した場所での警報中に、その範囲内で新たにユーザー登録ポイントを追加することはできません。
- ユーザー登録ポイントを 100 件以上登録した場合、“メモリーフルです”とアナウンスされます。

機能及び操作方法

レーダーキャンセル機能

※ GPS 衛星を受信している時のみ作動する機能です。

● レーダーキャンセル機能とは…

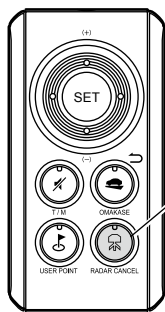
自動ドア等、レーダー波を受信してしまう場所を登録すれば、約半径200m内のレーダー警報をキャンセル（消音）します。（登録件数：50件）

※ GPS 衛星が受信できない状態では、登録できません。

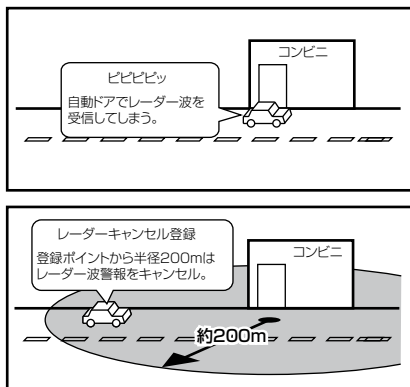
※ 登録する時にレーダーキャンセルスイッチを長押しすると、登録できませんのでご注意ください。

⚠ 警告


運転者は走行中に本製品を絶対に操作しないでください。同乗者の方が操作を行ってください。



レーダー
キャンセル
スイッチ



レーダーキャンセル登録方法

1 レーダー警報中に  【レーダーキャンセル】スイッチを押します。

2 約2秒後に「レーダーキャンセルポイント登録しました」とアナウンスされれば登録完了です。

※ レーダーキャンセル登録位置を走行した場合、ミュートマーク（P104）が表示され警報音が消音します。

レーダーキャンセル解除方法

1 レーダーキャンセル登録地点を走行時、**ミュートマーク (P104)** が表示中の位置で、
Ⓢ【レーダーキャンセル】スイッチを**長押し**します。

2 「レーダーキャンセルポイント解除しました」とアナウンスされれば解除完了です。

◇レーダーキャンセルができない場合…

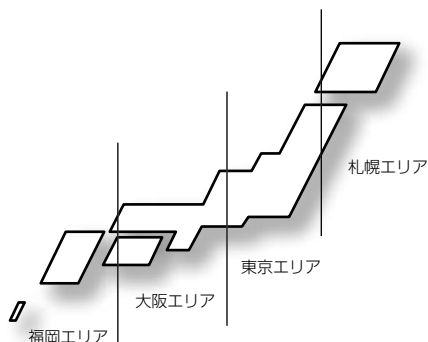
- レーダー（ステルス含む）受信中でも GPS 衛星が受信できないと“ピコーンピコーン 衛星をサーチ中 です”とアナウンスが流れます。
- 一度登録した場所（登録場所から半径約 200m）に再度、登録しようとした場合、“登録できません”とアナウンスされます。
- レーダーキャンセルを 50 件以上登録した場合、“メモリーフルです”とアナウンスされます。

オートディマー機能

GPS 情報によって自動的に液晶ディスプレイの背景色及び文字表示色 (P77) を調整します。

◇GPS 情報を利用した場合のオートディマー作動時刻

下のようなエリアを中心に各時季（2月～4月、5月～7月、8月～10月、11月～1月）の日の入りと日の出時刻の統計を基にオートディマー作動時刻を決めています。



機能及び操作方法

走行管理機能

電源を ON にした時、前回の走行時間、走行距離のデータを SD カードへ保存します。最大 500 件のデータを保存可能です。500 件を超える場合は、古いデータから上書きします。

- ※ 必要なデータはパソコンなどに保存してください。(CSV 形式で保存されます。)
- 車両の走行記録などにご使用ください。
- 衛星の受信状態により、時間、距離に誤差が生じることがあります。

- 1 市販の SD カードリーダーを使用しパソコンへ SD カードを挿入します。エクスプローラー等から SD カードのドライブを開き、SD カード直下にある「COM200」フォルダをダブルクリックしフォルダを開きます。(SD カード → COM200 → running → running.csv の順で開きます)



- 2 running.csv ファイルを開くと情報を記録した日時、距離、時間が表示されます。
記録日時 情報を記録した日付、時間
※本体起動時に情報を保存しているため、実際の走行した日時と異なります。
距離 使い始めてからこれまでに走行した距離 (1km 単位)
時間 使い始めてからこれまでに走行した時間 (1 時間単位)
※表示は 1km、1 時間単位ですが、距離、時間共に前回の情報を積算しています。

The screenshot shows a Microsoft Excel spreadsheet titled 'Microsoft Excel - running.csv'. The spreadsheet has three columns: A, B, and C. The data is as follows:

| | A | B | C |
|----|------------------|----|---|
| 1 | 2007/03/30/19.35 | 5 | 0 |
| 2 | 2007/03/30/20.58 | 30 | 1 |
| 3 | 2007/03/31/13.50 | 65 | 2 |
| 4 | | | |
| 5 | | | |
| 6 | | | |
| 7 | | | |
| 8 | | | |
| 9 | | | |
| 10 | | | |
| 11 | | | |
| 12 | | | |

Arrows from the text labels point to the corresponding columns in the spreadsheet: '日時' points to column A, '距離 (1km 単位)' points to column B, and '時間 (1 時間単位)' points to column C.

※ Excel 以外のソフトで確認すると表示は異なります。

愛車点検お知らせ機能（車両管理機能）（P63、P72）

設定したトリップ（距離）や期間になると、運転者にお知らせする機能です。

※ 使用用途は、オイル交換時期、タイヤローテーション時期などの用途にご使用ください。

※ 設定をクリアするまで、お知らせをします。（キー ON 時 5 秒間）

◇設定単位

・ トリップ（距離）… 1000～10000km（1000km 単位）

・ 期 間…………… 1～12 ヶ月（1 ヶ月単位）

※ GPS を受信していないと「トリップ」の設定はできません。

オープニングコール機能（P64、P73）

本体起動時に、時間帯によるアナウンスをする機能です。

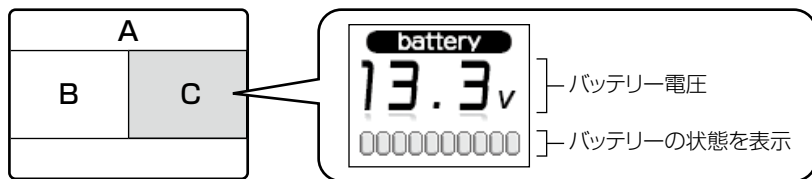
| 起動時刻 | アナウンス内容 |
|-------------|-----------|
| 0:00～4:59 | アナウンスなし |
| 5:00～9:59 | おはようございます |
| 10:00～17:59 | こんにちは |
| 18:00～23:59 | こんばんは |

※ 各機能の設定（P64）で設定を OFF にしてある場合は、アナウンスを行いません。

車両電圧表示機能

キーを ON にした時に、車両のバッテリーの電圧を測定し、待機画面 C エリアに 表示します。

※ 車両バッテリーチェック機能を OFF にすることはできません。



機能及び操作方法

危険運転お知らせ機能 (P63、72)

危険運転お知らせ機能とは、一定以上の「G（加速、減速）」を検出するとブザーでお知らせします。

- ※ OFF からレベル 15 まで設定を変更することができますので、運転レベルに応じて設定してください。(危険報知レベル)
- ※ 本機能を使用しない場合は、「OFF」に設定してください。
- ※ まず最初は、危険報知レベル「8」からお試してください。
- ※ ブザーが鳴らないように運転をすることで、加速・減速など運転をする際の目安にしてください。

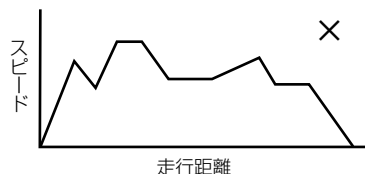
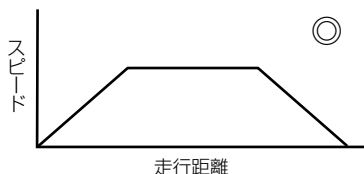
運転採点機能 初期値 50 点 (P63、72)

本体内蔵のセンサーが急加速・急減速などを感知し運転採点を行っています。設定メニューより運転採点のレベルを変更することができます。運転レベル、走行状況に応じて設定を行ってください。

- ※ 標準→ECO1→ECO2の順に採点が厳しくなります。
- ※ 待機画面(B/Cエリア)をECOに設定すると、採点した結果を確認することが出来ます。エコ運転を行っているとな数が加算され、荒い運転を行っているが減点されます。
- ※ エコ運転を行っているとな数の左側にECOマークが点灯しますので、エコ運転の目安にしてください。

■エコ運転を行う際の注意点

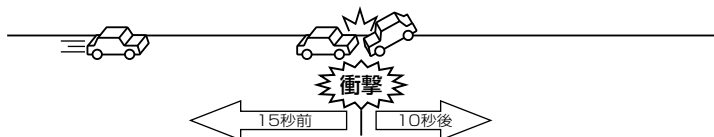
1. 丁寧なアクセルワークを心がけましょう。
2. 車間距離に余裕を持ち、急加速・急減速を行わず速度変化の少ない運転をしましょう。
3. 早めにアクセルをOFFにし、エンジンブレーキを有効に使いましょう。
4. 気象条件に応じたエアコン操作をしましょう
5. 無用なアイドリングはやめましょう。
6. タイヤの空気圧は定期的にチェックしましょう。
7. 無駄な荷物を車に積むのはやめましょう。



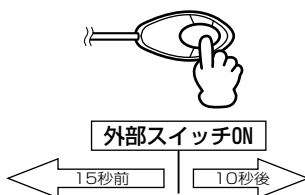
危険運転お知らせ機能と運転採点機能を併用しエコ運転を心がけましょう。

映像の記録

車両へ衝撃が加わると、その衝撃の前後最大 25 秒の映像を記録します。



または外部スイッチを押すと、その前後最大 25 秒の映像を記録します。



- ※ 記録時間の設定 (P62、P 63) により、最大 25 秒の記録が可能です。
- ※ 衝撃レベル (ショックレベル) の設定 (P62) は変更できます。
- ※ 映像を記録中に車両バッテリーが外れた場合でも、本体内蔵のバッテリーで、事故の映像を記録することができます。

バックアップ機能

映像を「記録中」又は「保存中」に電源 (ACC) が切断されても最後まで映像を記録することが可能です。

また、電源 (常時電源) が切断された場合、自動的に映像を記録します。(オプション 車両情報ユニット接続時のみ)

- ※ 内蔵バッテリーの充電が不十分な場合や消耗している場合は、バックアップ機能が正常に作動しないことがあります。

⚠ 注意

バックアップ機能作動時は、外部スイッチを押しても本体は作動しません。

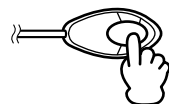
映像の記録

記録方法

1 車両への衝撃又は、外部スイッチ押す。



又は

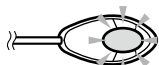


2 液晶ディスプレイに「衝撃検出」と表示し、「映像を記録します」とアナウンスします。

映像を記録します。

衝撃検出

3 外部スイッチ LED が橙点滅します。



LED橙点滅

4 液晶ディスプレイに「保存中」と表示されます。

保存中

5 外部スイッチ LED が橙点灯します。



LED橙点灯

6 液晶ディスプレイ表示が待機画面に戻ります。(記録終了)



⚠ 注意

- ・ ショックレベルの感度が高い設定になっている場合、頻繁に映像を記録することがあります。この場合は、走行状況に応じてショックレベルを変更してください。
- ・ 映像の「記録中」、「保存中」又は設定メニュー画面では、新しい映像を記録することはできません。
- ・ 映像データの容量が許容範囲を超えると、古いデータから上書きして新しいデータを記録します。ロックされたデータは上書きされません。
- ・ 映像データの容量が許容範囲を超えた場合、外部スイッチを押しても映像は記録できません。この場合、「SD カード残量異常」とエラー表示するため、パソコン等にデータを移動してください。
- ・ 液晶ディスプレイにエラー表示又は外部スイッチ LED が赤点灯及び赤点滅した場合は、映像を記録することはできません。エラーを解除してください。(P31、P111 参照)
- ・ 衝撃が検出できなかった場合、外部スイッチを押して映像を記録してください。
- ・ LED 式信号機の場合、LED が高速で点滅しているため、信号機が点滅したり消灯しているような映像が記録されることがありますが、故障ではありません。

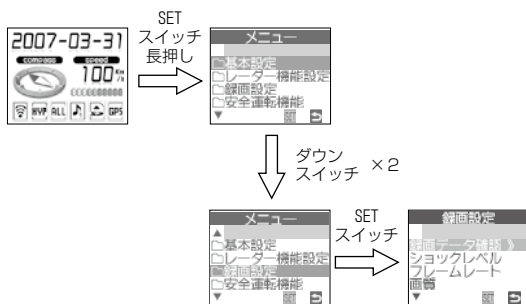
記録した映像を確認する

本体で映像を確認する

- 1 キーを ON にして、本体電源を ON にしてください。



- 2 リモコンの SET スイッチを長押ししてメニュー画面に入り、「録画設定」より「録画データ確認」へ入ってください。



- 3 再生画面まで入り、再生したいデータを選択し、SET スイッチを押してください。データが再生します。



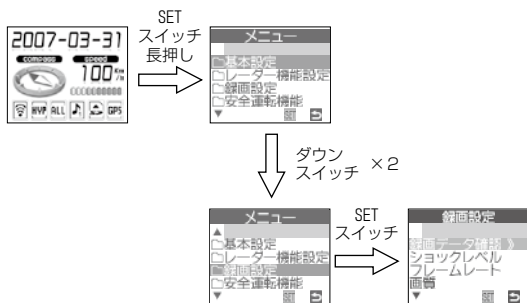
記録した映像を確認する


映像をロックする

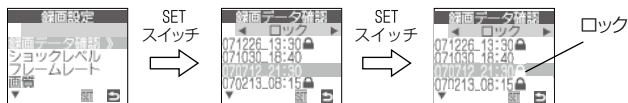
- 1** キーを ON にして、本体電源を ON にしてください。



- 2** リモコンの SET スイッチを**長押し**してメニュー画面に入り、「録画設定」より「録画データ確認」へ入ってください。

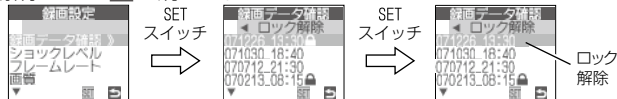


- 3** [ロック] ※映像をロックすると上書きされなくなります。ロックしたいデータを選択し、SET スイッチを押してください。データがロックされ、が表示されます。



[ロック解除]

ロックを解除したいデータを選択して、SET スイッチを押してください。データのロックが解除され、が消えます。



※ロックされた映像があると待機画面下部のSDカードアイコンが点灯します。消灯させたい場合は全ての映像のロックを解除してください。

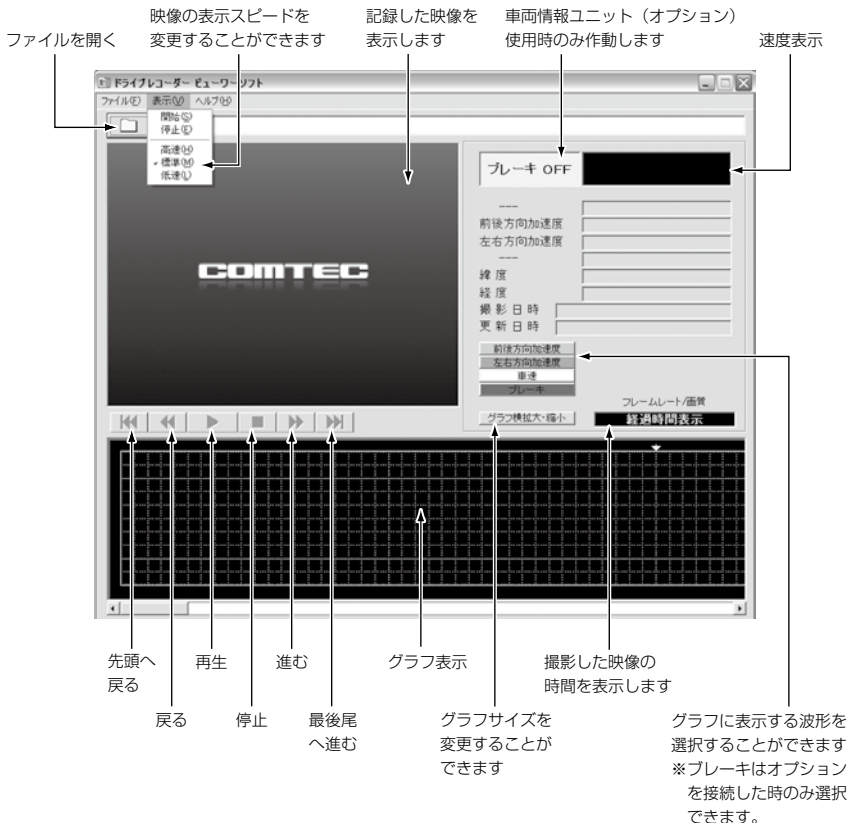
記録した映像を確認する

ビューワソフト内容

「GDA180R」で記録した映像をビューワソフトを使用し、パソコンで確認することができます。

※ SD カードリーダーは付属していませんので、お客様でご用意ください。

■ビューワソフト画面



記録した映像を確認する

■ビューワーソフトインストール方法

- 1** パソコンに付属の CD-ROM を入れ、エクスプローラ等で CD-ROM を開き、下記の「setup.exe」をダブルクリックします。



- 2** ドライブレコーダー ビューワーソフトのセットアップが始まりますので、「OK」をクリックしてください。



- 3** 画面の「セットアップボタン」をクリックしてください。

セットアップボタン



※ 別のフォルダに保存する場合は、変更をおこなってください。

- 4** 「継続」をクリックしてください。



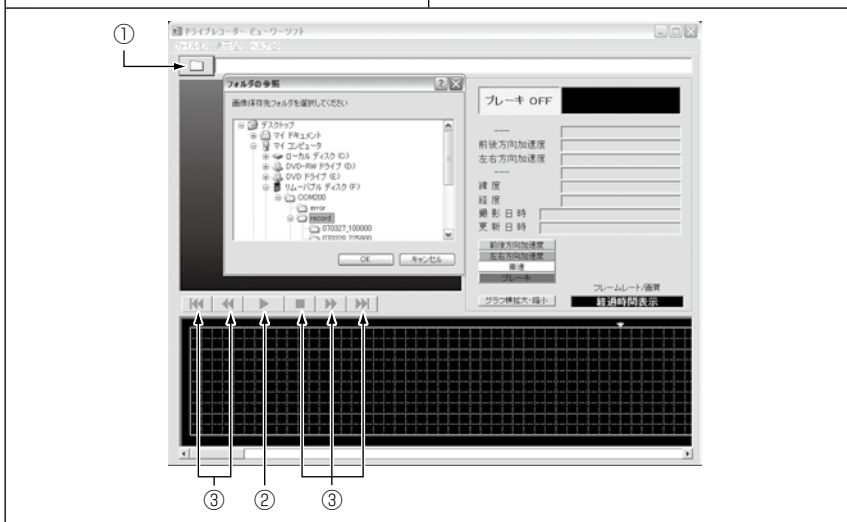
- 5** 下記の画面が表示されればビューワーソフトのセットアップは終了です。「OK」をクリックしてください。



記録した映像を確認する

■ビューワーソフト使用方法

- | | |
|---|--|
| 1 市販のSDカードリーダーなどを使用し、パソコンへSDカードを挿入します。 | 2 パソコンでビューワーソフトを実行します。(スタート → すべてのプログラム → ドライブレコーダー ビューワーソフトの順に開きます) |
| 3 「ファイルを開く」(①)よりSDカード内にある「COM 200」フォルダ内の「record」より確認したいフォルダを開きます。 (recordフォルダ内のフォルダ名は映像を記録した日付、時間になります) | 4 確認したいフォルダを選択し、映像が表示されたら再生ボタン(②)を押し映像を確認ください。 その他のボタン(③)で停止、戻るなどの操作もできます。 |



⚠ 注意

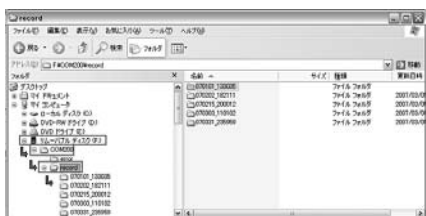
SDカードに保存される映像は限りがあります。SDカードがいっぱいになると古い映像から自動的に上書きしていきますので、保存しておきたい映像データについては、予めパソコンへデータを保存してください。

※ 記録した映像を何度も上書きし使用していますので映像を表示するまでの時間、書き込み速度が遅くなることがあります。パソコンでSDカードをフォーマットすることで、安定して映像を記録、保存することができるようになります。映像データをこまめにパソコンへ保存し、定期的なSDカードのフォーマットをおすすめします。(P59)

記録した映像を確認する

■記録した映像をパソコンへ保存／記録した映像を SD カードから削除する

- 1** 市販の SD カードリーダーなどを使用し、パソコンへ SD カードを挿入します。
エクスプローラなどから SD カードのドライブを開き、SD カード直下にある「COM200」フォルダをダブルクリックしフォルダを開きます。
(SD カード → COM 2 0 0 → record → フォルダの順で開きます)



- 2** 保存したいフォルダの上で右クリックし「コピー」を選択します。
※ コピーする際は、フォルダごとコピーしてください。



【記録した映像を削除する場合】

記録した映像を削除する場合は、削除したいフォルダを選択しフォルダごと削除してください。

- 3** 任意のフォルダを作成し、保存先の上で右クリックし「貼り付け」を選択します。



- 4** 映像データの保存が完了しました。



記録した映像を確認する

■ SD カードをフォーマットする

- 1** 市販のSDカードリーダーなどを使用し、パソコンへSDカードを挿入します。エクスプローラなどからSDカードのドライブを右クリックし、フォーマットを選択します。



- 2** フォーマットの画面が表示されます。「開始」をクリックし、フォーマットを開始します。



※ファイルシステムはFAT32に設定してください。

- 3** 確認の画面が表示されますので、フォーマットを実行する場合は「OK」をクリックしフォーマットを開始します。

※ フォーマットを行ったデータの復元はできません。必要なデータは予めパソコンへ保存してください。



- 4** フォーマットが終了すると「フォーマットが完了しました」というメッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。



- 5** 閉じるをクリックし、フォーマット完了です。



設定メニュー

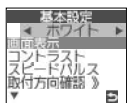
各機能の設定

各機能の設定をメニュー画面より変更できます。(設定方法は P66 ~ P73)

■メニュー画面の機能の説明

◇基本設定

●画面表示 [初期設定：ホワイト]



OFF、ホワイト、ブルー、ブラック、カメラ表示の5種類の待機画面から選択できます。(P77)

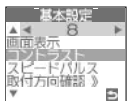
※「OFF」設定の場合は、液晶ディスプレイの表示はしません。

※「カメラ表示」設定の場合は、カメラが撮影している映像を表示します。(1秒間に1枚表示)

※フレームレートの設定を「14fps」にした場合、カメラ表示はできません。(P62)

※「OFF」又は「カメラ表示」設定の場合、レーダー警報、無線受信している場合は、警報画面を表示します。

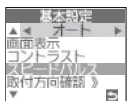
●コントラスト [初期設定：8]



待機画面、警報画面のコントラスト(明暗)の調整ができます。

※コントラスト設定の数値は小さくなるほど暗くなり、大きくなるほど明るくなります。

●スピードパルス(車速パルス) [初期設定：オート]



車両情報ユニット(オプション)接続時にスピードパルスの設定ができます。スピードパルス認識後、設定されたパルスを表示します。

※スピードパルスの設定は、スピードメーターと本体車速に誤差が生じる場合のみ、調整してください。基本的に設定は変更せずに、「オート」で使用してください。

※スピードパルスが設定された場合

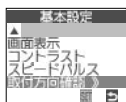
(例) 4パルスの場合 オート→4へ設定されます。

※スピードパルス 2, 4, 6, 8, 16の国産車に対応。輸入車、特殊車両には対応していません。

⚠ 注意

車両情報ユニット(オプション)接続していない場合は、設定してもスピードパルスは表示しません。

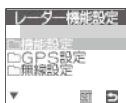
● 取付方向確認



実際にカメラが撮影している映像を表示することができます。
リモコン操作又は 10 分経過後、待機画面に戻ります。
※ 本体取付け時のカメラ方向の確認に使用します。

◇ レーダー機能設定

● 機能設定



レーダー機能の各種設定が行なえます。

「ASC」→受信感度の設定

「LSC」→低速警報カット機能の設定

「アラーム」→警報音の設定ができます。

※ マニュアルモードにした時の設定です。おまかせモード、オールオンモードの設定を変更することはできません。

※ 各種設定については P74 ~ P77 をご覧ください。

● GPS 設定



GPS 警報機能の ON / OFF 設定ができます。

※ セーフモードのみ ON / OFF / ALL-ON

※ 各種設定については P67 ~ P68 をご覧ください。

● 無線設定

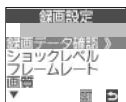


無線警報機能の OFF / LOW / HI 設定ができます。

※ 各種設定については P68 ~ P70 をご覧ください。

◇ 録画設定

● 録画データ確認



SD カードに記録された映像を「再生」、「ロック」、「ロック解除」することができます。

「再生」→記録した映像を再生します。(P53)

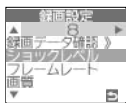
「ロック (🔒)」→記録した映像を削除禁止にします。(P54)

※ 本製品のみ上書きされないよう削除禁止にしています。パソコン等では削除可能ですのでご注意ください。

「ロック解除」→記録した映像を上書きできる状態にします。(P54)

設定メニュー

● ショックレベル【初期設定：8】



車両への衝撃レベルを設定することができます。

- ※ 車両の大きさによっては、正常に作動しない場合があります。必ず、ショックレベルの調整を行ってください。
- ※ ショックレベルは設定数値が小さくなるほどセンサーの感知レベルが鈍感になり、設定数値が大きくなるほどセンサーの感知レベルが敏感になります。

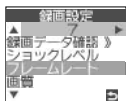


⚠ 注意

下記のような場合には、再度ショックレベルの調整を行なってください。

- ・ 通常走行している状態で、頻繁に映像を記録する。(例：ショックレベル 8 → 7)
- ・ 必要な時に、映像を記録しない。(例：ショックレベル 8 → 9)

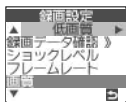
● フレームレート【初期設定：7 fps】



1秒間に撮ることができる映像枚数を設定することができます。
「7fps」→夜の映像に強い/長時間記録ができる
「14fps」→スムーズな映像が記録できる

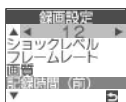
- ※ 画面表示を「カメラ表示」に設定した場合、フレームレートを「14fps」に設定することはできません。
- ※ 「14fps」に設定できない場合は、画質・記録時間の設定を確認してください。

● 画質【初期設定：低画質】



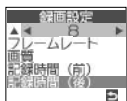
SDカードに記録される画質を設定することができます。
「高画質」→約 30KB/枚
「低画質」→約 15KB/枚

● 記録時間(前)【初期設定：12秒】



衝撃又は外部スイッチ ON を起点として、起点前の記録時間を 5～15 秒に設定することができます。

● 記録時間（後）【初期設定：8 秒】



衝撃又は外部スイッチ ON を起点として、起点後の記録時間を 5 ～ 10 秒に設定することができます。

※ フレームレート (P62) 及び画質の設定により、記録時間 (前後合めて) は制限されます。

| | 低画質 | 高画質 |
|---------------|---------------|---------------|
| フレームレート 7fps | 合計記録時間 25 秒以内 | 合計記録時間 24 秒以内 |
| フレームレート 14fps | 合計記録時間 15 秒以内 | 合計記録時間 12 秒以内 |

※ フレームレート、画質、記録時間の設定により、SD カードへの保存にかかる時間は異なります。

※ フレームレート、画質、記録時間の設定により、保存される枚数は異なります。

※ 「7fps」、「低画質」、「記録時間を短く」することで、1 件あたりの保存データ容量は少なくなります (SD カードへの保存にかかる時間も短くなります)

◇ 安全運転機能

● 危険報知レベル【初期設定：OFF】(P50)

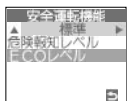


本体内蔵のセンサーにより一定以上の「G」がかかった時に、ブザーで危険をお知らせする機能です。

※ 運転レベル、走行状況に応じて設定してください。

※ 危険報知レベルの設定数値は、小さくなるほどセンサーの反応が鈍感になり、大きくなるほどセンサーの反応が敏感になります。

● ECO レベル【初期設定：標準】(P50)



燃費悪化の原因となる急加速・急減速を、本体内蔵のセンサーが感知し、運転採点を行います。この運転採点機能 (ECO モード) のレベルを調整することができます。

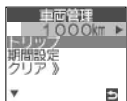
※ 標準 → ECO1 → ECO2 の順に採点が厳しくなります。

※ 待機画面を ECO モードにすると、採点した結果を確認することができます。(P38、P39)

※ 省燃費運転をする際の目安にしてください。本機能を使用しても必ず燃費が改善されるわけではありませんので、ご注意ください。

◇ 車両管理機能

● トリップ (距離)【初期設定：OFF】※ GPS を受信していないと設定できません。



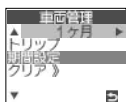
設定した距離になるとお知らせする機能です。[OFF ~ 10000km] (1000km 単位)

※ オイル交換、タイヤローテーションなどの用途にご使用ください。

※ キーを ON にした時に設定した距離になるとお知らせし、設定をクリアするまで、お知らせを行います

設定メニュー

● 期間設定 [初期設定：OFF]



設定した期間になるとお知らせする機能です。[OFF～12ヶ月](1ヶ月単位)
※ オイル交換、タイヤローテーションなどの用途にご使用ください。
※ キーを ON にした時に設定した距離になるとお知らせし、設定をクリアするまで、お知らせを行います。
※ 時刻設定が終わっていないと設定できません。

● クリア



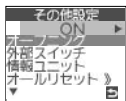
車両管理機能の設定を初期化します。

⚠ 注意

一度、クリアすると元の状態には戻らないため、ご注意ください。

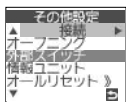
◇ その他設定

● オープニング [初期設定：ON]



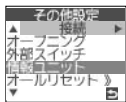
製品起動時にオープニング画面と、アナウンスを行います。
※ OFF にすると、オープニング画面のみ表示します。

● 外部スイッチ [初期設定：接続]



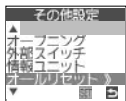
強制的に映像を記録させる外部スイッチの接続・未接続の選択ができます。

● 情報ユニット [初期設定：未接続]



情報ユニット（オプション）の接続・未接続の選択ができます。
※ 情報ユニットを取付けた場合、車速及びブレーキ情報を記録することができます。

● オールリセット (P78)

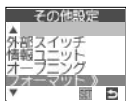


全ての設定を初期化します。
※ レーダーの設定も初期化されます。

⚠ 注意

一度、オールリセットすると元の状態には戻らないため、ご注意ください。

● フォーマット

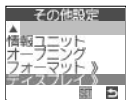


SD カードをフォーマットします。

⚠ 注意

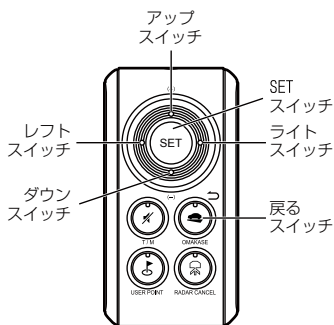
一度、フォーマットすると全てのデータが消去されますので、ご注意ください。

● ディスプレイ（販売店向け）



本機の一連の動きをデモンストレーションする、ディスプレイモードの設定ができます。本製品を店頭ディスプレイとして使用する場合に設定してください

■ 設定方法



レフト、ライトスイッチで内容を設定してください。

1 まず初めに待機画面でリモコンのSETスイッチを**長押し**して下さい。

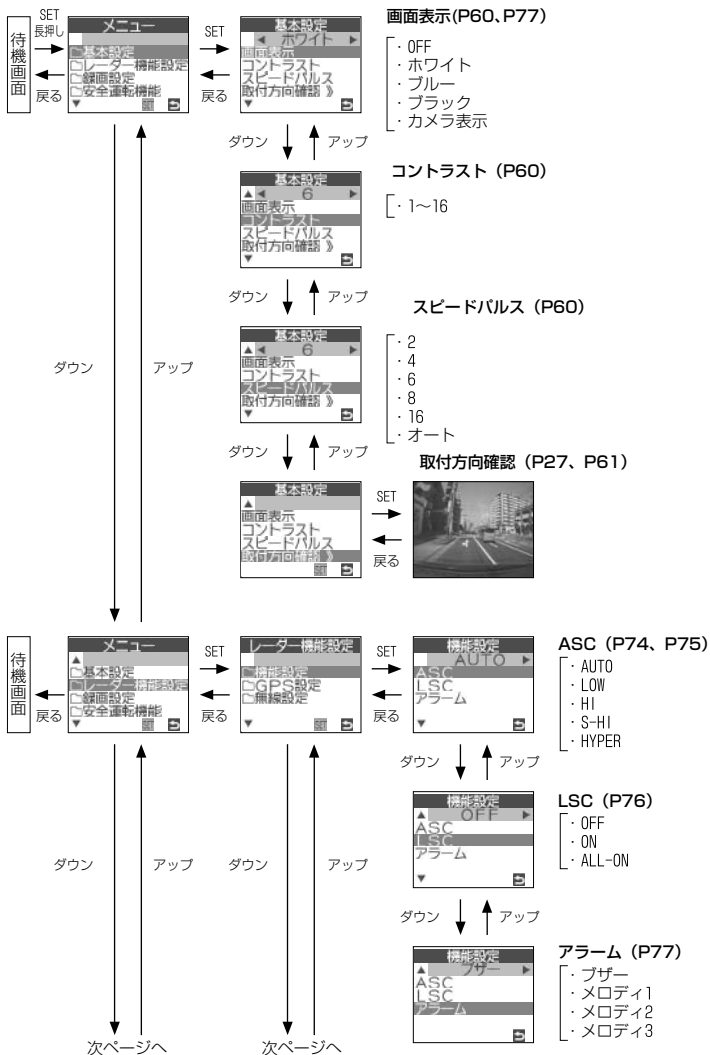
2 メニュー画面に入ったら、アップ、ダウンスイッチで項目を選択し、レフト、ライトスイッチで内容を選択して下さい。

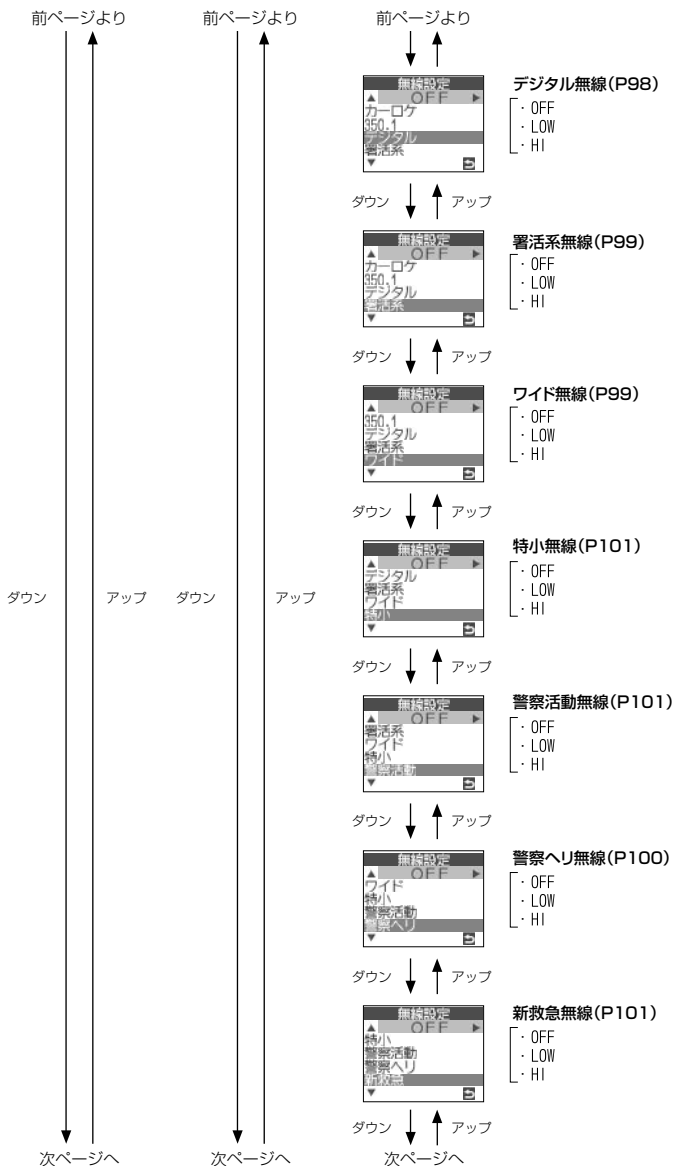
[設定終了]

設定を終了するには、①リモコン SET スイッチ**長押し**をする、②リモコンの戻るスイッチ (⏪) を押し設定メニューを終了する、③操作をしないまま 60 秒間経過すると設定を終了することができます

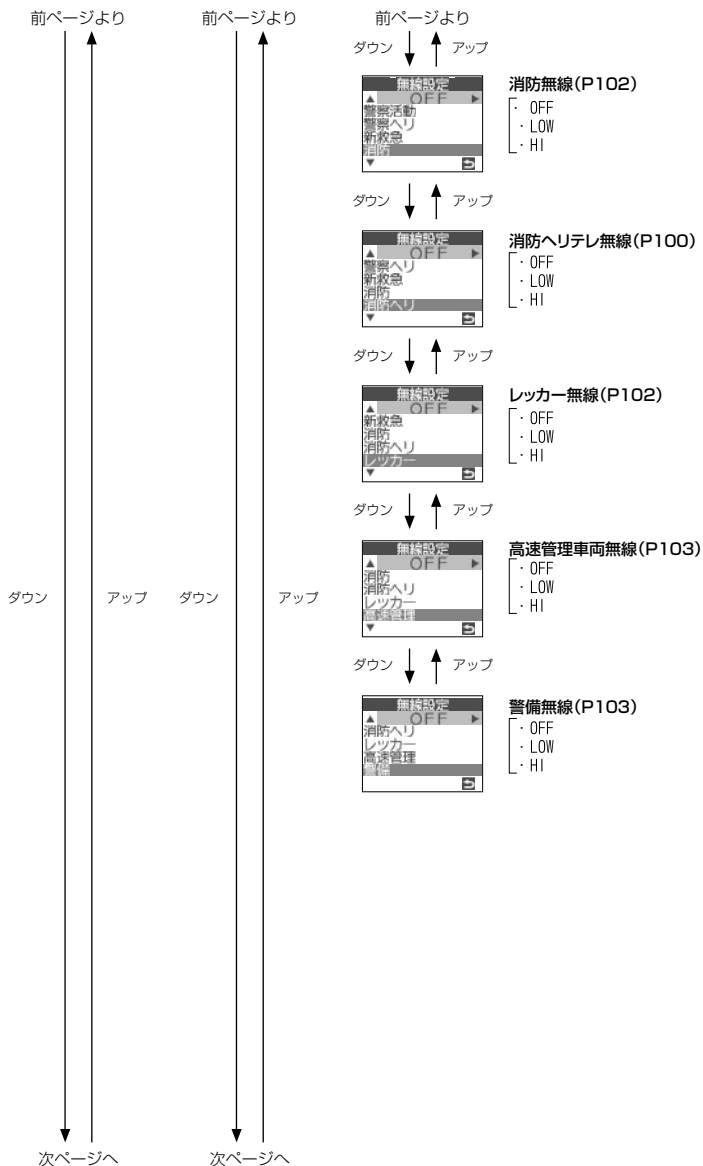
設定メニュー

■メニュー内容

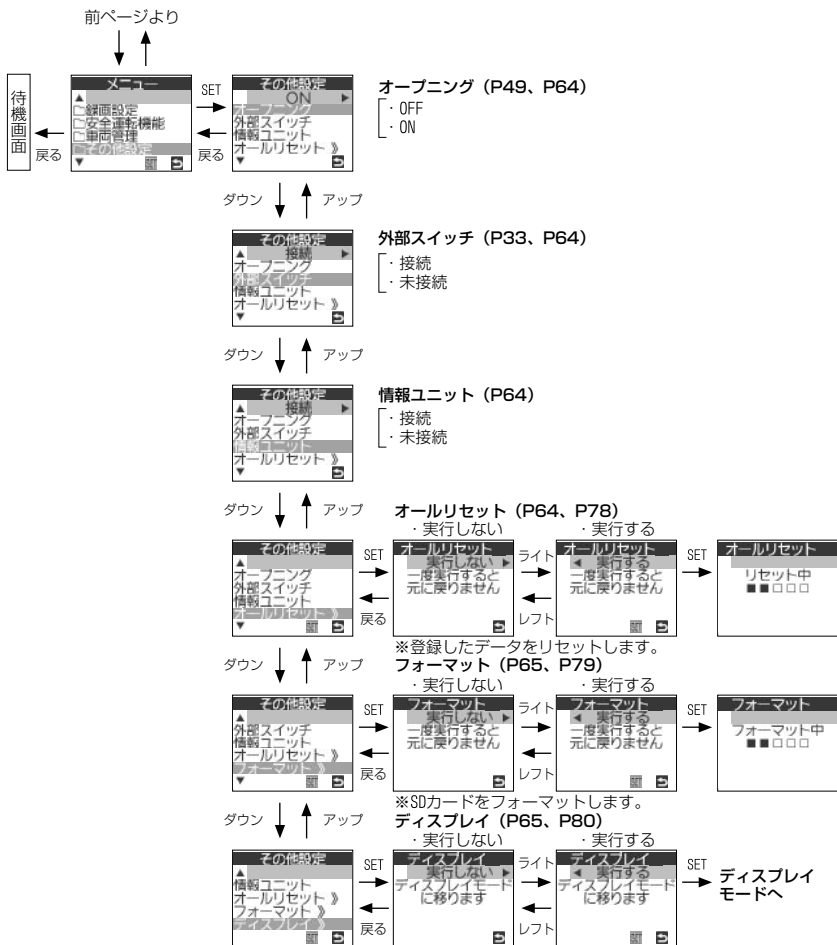




設定メニュー



設定




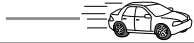
設定メニュー

レーダー受信感度の設定 (ASC-i)

● ASC 機能とは…

車の走行する速度によってレーダーの受信する感度を自動的に調整したり、マニュアル設定で受信感度を固定することもできます。感度をオート設定することにより高速走行中はレーダー感度を上げて警報しやすくし、低速走行中（渋滞など）はレーダー感度を下げて警報を鳴りにくくします。

本製品には、レーダー受信感度を HYPER（ハイパー）、S-HI（スーパーハイ）、HI（ハイ）、LOW（ロー）の4段階に手動設定するマニュアル設定機能と、走行状況に応じて適切な受信感度をオート設定する ASC 機能（オート・センシティブ・コントロールの略称）を設定することができます。（各感度の警報タイミングにつきましては P92 をご覧ください。）

| 設定 \ 状態 |  信号待ち、低速走行時など |  走行中 |
|---------------------------|---|--|
| ASC 設定 | 受信感度 LOW（ロー） | HI（ハイ）→ S-HI（スーパーハイ）→ HYPER（ハイパー）に受信感度が変化 |
| マニュアル設定 HYPER（ハイパー）の場合 | HYPER（ハイパー）感度そのまま固定 | |

■ 設定方法

※ 電源を ON（P34）にして、待機画面が表示状態で設定してください。


P66 の設定方法で ASC 機能設定に合わせ、「AUTO」オート、「LOW」ロー、「HI」ハイ、「S-HI」スーパーハイ、「HYPER」ハイパーを選んで設定します。

※ 設定を終了するには、①リモコン SET スイッチ **長押し** をする、②リモコンの戻るスイッチ (⏪) を押し設定メニューを終了する、③操作をしないまま 60 秒間経過すると設定を終了することができます



■マニュアルに設定にした場合 (LOW/HI/S-HI/HYPER 選択時)

下記表を参照し、最適な受信感度を設定してください。

| 受信感度 | 適切な走行場所 | 走行状態 | 待機時液晶画面表示 |
|---------------|----------|--------|---|
| LOW (ロー) | 市街地 | 低速走行 |  |
| HI (ハイ) | 郊外地 | 中速走行 |  |
| S-HI (スーパーハイ) | 郊外地・高速道路 | 中・高速走行 |  |
| HYPER (ハイパー) | 高速道路 | 高速走行 |  |

■ASC 設定にした場合 (AUTO 選択時)

走行速度に対して適切なレーダー受信感度に自動的に変わります。

◇ASC-i 機能

オート・センシティブ・コントロール・インテリジェンスの略称で、**GPS 機能を使用して算出した自車の走行速度**にあわせて適切なレーダー受信感度を自動で設定する機能です。

| 受信感度 | 走行速度 |
|---------------|-----------------|
| LOW (ロー) | 30km/h 未満 |
| HI (ハイ) | 30km/h ~ 60km/h |
| S-HI (スーパーハイ) | 60km/h ~ 80km/h |
| HYPER (ハイパー) | 80km/h 以上 |

※ ASC-i 機能設定状態で、GPS 衛星の受信が行えない場合は、受信感度 HYPER (ハイパー) に固定されます。

⚠ レーダー警報が鳴らない？

受信したレーダー波が弱いと、レーダー感度設定によっては警報表示はしませんが、警報音が鳴らない場合があります。



...

LOW (ロー) 設定の場合



ピッピッ...

HYPER (ハイパー) 設定の場合

設定メニュー

ロー・スピード・キャンセル・インテリジェンス (LSC-i)

● LSC 機能とは…

ロー・スピード・キャンセルの略称です。車が低速走行時、警告音を自動的にカットするための機能です。

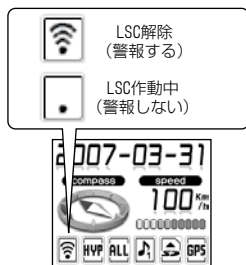
■ LSC-i 機能

GPS 機能を使用して算出した自車の走行速度が 30Km/h 以下の場合、警報中でも LSC-i 機能が作動して警報音をカットします。



■ LSC マークについて (LSC-i)

LSC 機能の作動を 2 段階表示で液晶ディスプレイにて確認することができます。



| 状態 | 走行状態 | 表示マーク | 警報 |
|---------------------------|-------------|-------|-----|
| LSC-i | 停車中～ 30Km/h | ● | しない |
| | 30Km/h 以上 | Wi-Fi | する |
| LSC 機能を OFF 又は衛星を受信していない時 | | Wi-Fi | する |

※ 警報を行っていない時はミュートマークが点灯します。

◇ 設定内容

| 設定 | 作動内容 |
|--------|---------------------------------------|
| OFF | 走行速度に関係なく警報を行う。 |
| ON | 低速走行時に GPS 警報、レーダー警報の警報音を自動的にカットする。 |
| ALL-ON | 低速走行時に GPS 警報、レーダー警報、無線警報音を自動的にカットする。 |

※ 各警報の設定が、ON 設定にしてある場合に限りです。

アラーム機能

警報音をブザー／メロディ1／メロディ2／メロディ3のいずれかで、鳴らすことができます。

- ・ブザー：警報音をブザーで鳴らします。
- ・メロディ1：警報音をメロディ音、F1のテーマ曲(TRUTH)で鳴らします。
- ・メロディ2：警報音をメロディ音、クラシック（ワルキューレの騎行）で鳴らします。
- ・メロディ3：警報音をドラムのリズムで鳴らします。

画面表示カラー切替え機能

待機画面の表示色を3色（ホワイト、ブルー、ブラック）に切替えることができます。

◇画面設定内容

| | ホワイト | | ブルー | | ブラック | |
|----------------------|------|------|------|------|------|------|
| | 背景 | 文字 | 背景 | 文字 | 背景 | 文字 |
| 通常 | ホワイト | ブラック | ブルー | ホワイト | ブラック | グリーン |
| オートディマー 作動時 (P47) | ブラック | ホワイト | ブラック | ブルー | ブラック | オレンジ |

※ 画面表示 (P60) の設定により待機画面の表示色を切替えることができます。

設定メニュー

オールリセット（データリセット）

全ての登録を行ったデータをリセット（初期化）し、工場出荷時の状態に戻します。

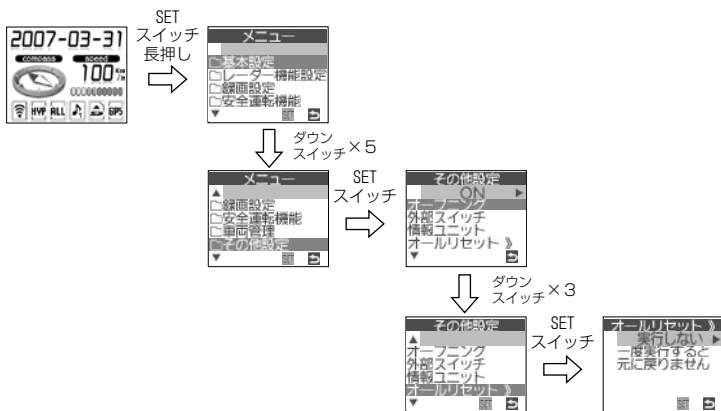
⚠ 注意

- ・ オールリセットを行うと、ユーザー登録ポイント・レーダーキャンセルポイント等の登録データを全て消去します。また、消去したデータの復元はできません。
- ・ 工場出荷時、予め登録してあるデータは消去できません。

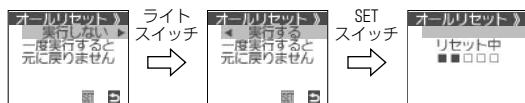
リセット方法

1 キーを ON にして、本体電源を ON にしてください。

2 リモコンの SET スイッチを長押ししてメニュー画面に入り、「その他設定」から「オールリセット」へ入ってください。



3 「実行する」を選択して、SET スイッチを押してください。オールリセットされます。



フォーマット

SD カードをフォーマットします。

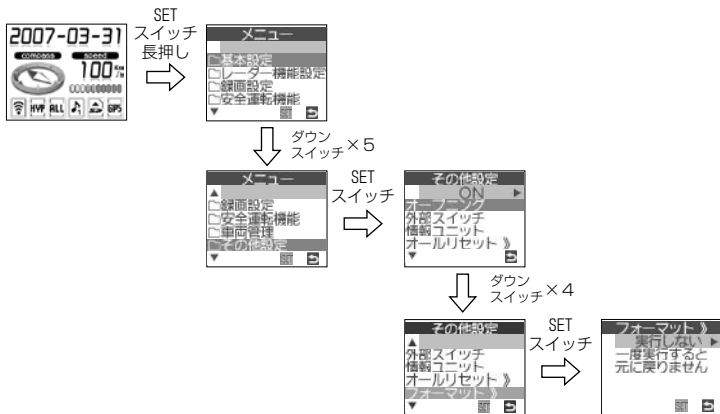
⚠ 注意

フォーマットすると、SD カードデータを全て消去します。消去したデータの復元はできません。

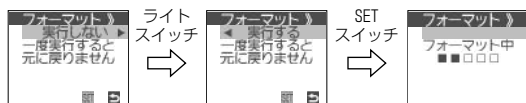
フォーマット方法

1 キーを ON にして、本体電源を ON にしてください。

2 リモコンの SET スイッチを長押ししてメニュー画面に入り、「その他設定」から「フォーマット」へ入ってください。



3 「実行する」を選択して、SET スイッチを押してください。フォーマットされます。



設定メニュー

ディスプレイモード（販売店向け機能）

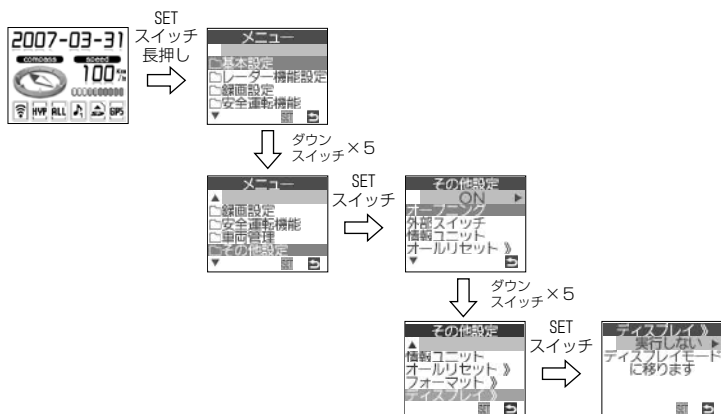
本機の一連の動きをデモンストレーションします。本製品を店頭ディスプレイとして使用する場合に、設定を行ってください。

■設定方法

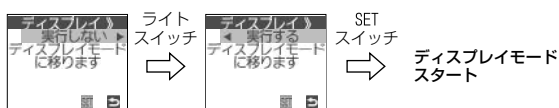
※ ディスプレイモード中は音量調整はできません。ディスプレイモード設定前に音量調整（P36）を行なってください。調整した音量でディスプレイモードが作動します。

1 キーを ON にして、本体電源を ON にしてください。

2 リモコンの SET スイッチを**長押し**してメニュー画面に入り、「その他設定」から「ディスプレイ」へ入ってください。



3 「実行する」を選択して、SET スイッチを押してください。ディスプレイモードが作動します。



■解除方法

キーを OFF にし SD カードを抜いて、キーを ON にしてください。「21 SD カード確認」のエラーが出て、ディスプレイモードが解除されます。解除後、キーを OFF にし SD カードを挿入してください。

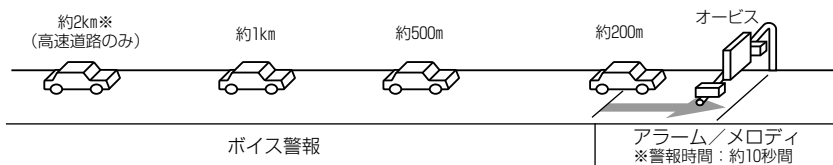
GPS 警報

■オービス／ユーザー登録ポイント警報 (GPS スピードガン info)

オービスポイントに接近した場合、下記のように警報を行います。

※ 対向車線上のオービスへの警報は行いません。

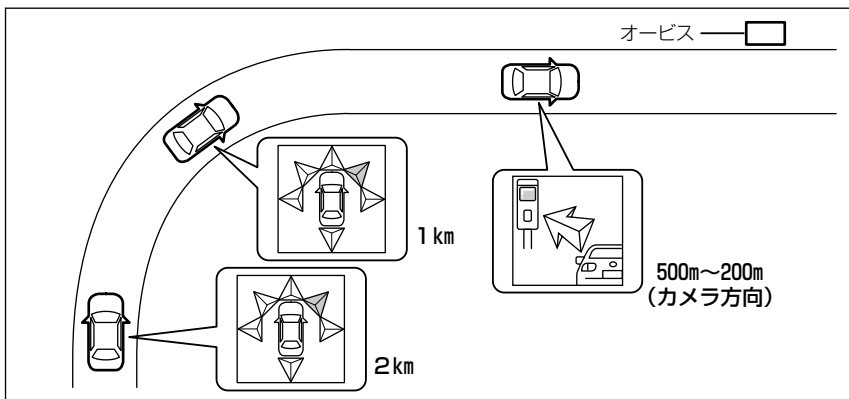
◇ **警報を行う距離** (注) GPS 電波が受信できていない状態では、GPS 警報ができません。



※ 警報を行う距離は、対象とするオービスからの直線距離です。道路の高低差、カーブの大きさ等によっては実際の走行距離と異なる場合があります。また、近くの平行する道路等を走行中の時も警報を行う場合があります。

■オービス (GPS) 方向指示 (機能) について

オービス (GPS) 警報中にオービスの方向を下記のように示します。



※ オービス、ユーザー登録ポイント警報は、約 1 km 以内に入るとオービス等の警報対象物の方向を表示します。

※ ポリスエリア警報、事故ポイント警報、N システム /NH システム警報は、警報開始地点の警報対象物の方向を表示し、表示後の表示更新はしません。

※ 500m ~ 200m はカメラ方向を表示します。(ユーザーポイント除く)

◇オービス警報・ユーザー登録ポイント警報の内容

| オービス種類 | ボイス内容 ※（ ）内の言葉はオービス迄の直線距離、高速・一般道等によって変わります。 | 液晶表示内容 |
|---------------------|--|--|
| ループコイル 光電管 | 効果音、約（※1）先（※2）上ループコイルがあります。 時速は約（※3）キロです。（※8） |  ※5 ※4 ※6 |
| LHシステム | 効果音、約（※1）先（※2）上LHシステムがあります。 時速は約（※3）キロです。（※8） |  ※5 ※4 ※6 |
| Hシステム | 効果音、約（※1）先（※2）上Hシステムがあります。 時速は約（※3）キロです。（※8） |  ※5 ※4 ※6 |
| レーダー | 効果音、約（※1）先（※2）上レーダーがあります。 時速は約（※3）キロです。（※8） |  ※5 ※4 ※6 |
| トンネル出口 付近 | 効果音、（※2）上トンネル出口（※7）があります。 時速は約（※3）キロです。 |  ※5 ※6 |
| ユーザー登録 ポイント(P44) | 効果音、約（※1）先（※2）上ユーザーポイントがあります。時速は約（※3）キロです。（※8） |  ※5 ※4 ※6 |

- ※1 2キロ、1キロ、500mいずれかをアナウンスします。（2キロは高速道路のみ）
- ※2 高速道路、一般道路のいずれかをアナウンスします。ロードセレクト（P43）の設定でも変わります。
- ※3 アナウンスを始めた時の時速を約10Km単位（四捨五入）でアナウンスします。190Km以上は「190キロ以上です」とアナウンスします。
- ※4 オービスの方向を表示（P81）します。（500m地点よりカメラ設定方向を表示します。）
- ※5 現在の時速を表示します。
- ※6 オービスまでの予測距離を表示し、予測距離が約200m以下になった時は「注意！」を表示します。
- ※7 取締機の種類をアナウンスします。
- ※8 2キロ、1キロの警報の場合、到達時間は、約〇〇秒です。500mの警報の場合、カメラは、（右側／左側／正面）です。

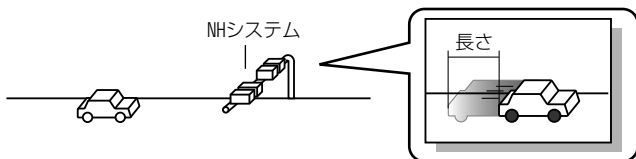
⚠ 注意

- ・ ※3のアナウンスの時速はアナウンスを開始した時の時速であり、ディスプレイ表示される時速（※5）は現在の走行している時速のため、アナウンス時速と表示される時速は違う場合があります。
- ・ ※8の到達時間はアナウンス開始時の速度と距離で算出されており、実際の到達時間とは異なる場合があります。あくまで目安とお考えください。

■ N システム /NH システム警報 (N/NH SYSTEM info)

● NH システムとは…

通過車両を一定のシャッタースピードで撮影し、写真画像の残像をコンピュータで解析し残像の度合いによって走行速度を割出すシステムです。現在は車両識別用監視カメラとして稼動していますが、将来的には取締りに使用される可能性があります。



◇ N システム /NH システム設定

すべての N システム機能（警報）を P67 の設定により ON/OFF することができます。

◇ N システム /NH システムポイントに接近した場合、下記のように警報を行います。

※ 対向車線上の N システム / NH システムへの警報は行いません。

◇ 警報を行う距離

※ GPS 電波が受信できていない状態では、GPS 警報ができません。



◇ 警報の内容

※ 本製品は、NH システムを N システムとして警報を行います。

| ボイス内容 | 液晶表示内容 |
|---|--------|
| 効果音、この先（ <small>高速道路上</small> <small>一般道路上</small> ）N システムがあります。 | |

⚠ 注意

警報を行う距離は、対象とする N システム / NH システムからの直線距離です。道路の高低差、カーブの大きさ等によっては実際の走行距離と異なる場合があります。



警報について

■チェックポイント警報（トラップポイント info）

※ 衛星を受信中のみ作動する警報です。

速度取締りを中心に頻繁に行われているエリアや、過去に取締りの事例があるエリアが予め本機に登録しており、チェックポイントに接近すると約 500m ~ 1km の間で注意をお知らせし、離れば回避をお知らせします。

※ P67 の設定により機能を ON/OFF することができます。


| ボイス内容 | 液晶表示内容 |
|------------------------------|---|
| 効果音、この先 一般道路上 チェックポイントがあります。 |  |
| 効果音、チェックポイントを回避しました。 |  |

■ポリスエリア警報（ポリスロケート info）

※ 衛星を受信中のみ作動する警報です。

本機に登録されている警察署付近に接近（約 300m）するとお知らせします。

※ P67 の設定により機能を ON/OFF することができます。


| ボイス内容 | 液晶表示内容 |
|----------------------------|--|
| 効果音、この先 一般道路上 ポリスエリアがあります。 |  |

■事故ポイント警報（事故ポイント info）

※ 衛星を受信中のみ作動する警報です。

全国の事故多発ポイントを予め本機に登録しており、事故多発ポイントに接近（約 300m）するとお知らせします。

※ P67 の設定により機能を ON/OFF することができます。




| ボイス内容 | 液晶表示内容 |
|------------------------|---|
| 効果音、この先 事故多発ポイントがあります。 |  |

■サービスエリア・パーキングエリア・ハイウェイオアシス警報（SA/PA/HO info）

※ 衛星を受信中のみ作動する警報です。

全国の高速道路にあるサービスエリア、パーキングエリアやハイウェイオアシスの位置情報を予め本機に登録しており、サービスエリア又はパーキングエリアに接近すると、2Km 手前でお知らせします。

※ P67 の設定により機能を ON/OFF することができます。

| 状況 | ボイス内容 | 液晶表示内容 |
|-----------|------------------------------|---|
| パーキングエリア | 効果音、この先、高速道路上パーキングエリアがあります。 |  |
| サービスエリア | 効果音、この先、高速道路上サービスエリアがあります。 |  |
| ハイウェイオアシス | 効果音、この先、高速道路上ハイウェイオアシスがあります。 |  |


※ ロードセレクト機能（P43）がハイウェイモード、オールモードの時のみ有効です。

■道の駅ポイント警報（道の駅 info）

※ 衛星を受信中のみ作動する警報です。

本機に登録されている道の駅付近に接近（約 1km）すると、お知らせします。

※ P67 の設定により機能を ON/OFF することができます。

| ボイス内容 | 液晶表示内容 |
|-------------------------|---|
| 効果音、この先、一般道路上 道の駅があります。 |  |


※ ロードセレクト機能（P43）がシティーモード、オールモードの時のみ有効です。

■急カーブポイント警報（カーブポイント info）

※ 衛星を受信中のみ作動する警報です。

本機に登録されているカーブ付近に接近（約 300m）すると、お知らせします。

※ P67 の設定により機能を ON/OFF することができます。

| ボイス内容 | 液晶表示内容 |
|-----------------------------|---|
| 効果音、この先、高速道路上（※1）急カーブがあります。 |  |

※ ロードセレクト機能（P43）がハイウェイモード、オールモードの時のみ有効です。

※ 1 カーブの状況に応じて、右、左、連続のいずれかをアナウンスします。

⚠ 注意

弊社調査による高速道路上の急カーブと思われる位置を登録して警報を行っています
が、下記には注意してください。


- ・ 全ての急カーブポイントで警報するわけではありません。
- ・ 高速道路の側道（一般道路）を走行中に、その付近の登録ポイントを警報することがあります。

■トンネルポイント警報（トンネルポイント info）

※ 衛星を受信中のみ作動する警報です。

本機に登録されているトンネル付近に接近（約 1km）すると、お知らせします。

※ P68 の設定により機能を ON/OFF することができます。

| ボイス内容 | 液晶表示内容 |
|------------------------------|---|
| 効果音、この先、高速道路上（※ 1）トンネルがあります。 |  |

※ ロードセレクト機能（P43）がハイウェイモード、オールモードの時のみ有効です。

※ 1 トンネルの状況に応じて、「長い」、「連続する」のいずれかをアナウンスします。

⚠ 注意

弊社調査による高速道路上のトンネル位置を登録して警報を行っていますが、下記には注意してください。

- ・ 全てのトンネルポイントで警報するわけではありません。
- ・ 高速道路の側道（一般道路）を走行中に、その付近の登録ポイントを警報することがあります。

■県境ポイント警報（県境ポイント info）

※ 衛星を受信中のみ作動する警報です。

県境付近に接近（約 1km）すると、都道府県をお知らせします。

※ P68 の設定により機能を ON/OFF することができます。

ボイス内容

効果音、この先、（※ 1）。

※ ロードセレクト機能（P43）がハイウェイモード、オールモードの時のみ有効です。

※ 1 都道府県をアナウンスします。

※ 山間部やトンネル内又は出口付近等の GPS の受信が不安定な場所では警報しない場合があります。

⚠ 注意

弊社調査による高速道路上の県境位置を登録して警報を行っていますが、下記には注意してください。

- ・ 全ての県境ポイントで警報するわけではありません。
- ・ 高速道路の側道（一般道路）を走行中に、その付近の登録ポイントを警報することがあります。

■分岐合流ポイント警報（分岐合流ポイント info）

※ 衛星を受信中のみ作動する警報です。

本機に登録されている分岐合流付近に接近（約 500m）すると、お知らせします。

※ P68 の設定により機能を ON/OFF することができます。

| ボイス内容 | 液晶表示内容 |
|------------------------|--------|
| 効果音、この先、高速道路上 分岐があります。 | |
| 効果音、この先、高速道路上 合流があります。 | |

※ ロードセレクト機能（P43）がハイウェイモード、オールモードの時のみ有効です。

※ 分岐と合流のアナウンスは、それぞれ異なります。

⚠ 注意

弊社調査による高速道路上の分岐合流ポイントを登録して警報を行っていますが、下記には注意してください。

- ・ 全ての分岐合流ポイントで警報するわけではありません。また、SA・PA・インターチェンジからの分岐合流も警報を行いません。
- ・ 高速道路の側道（一般道路）を走行中に、その付近の登録ポイントを警報することがあります。


■ 駐車監視エリア警報 (駐車監視エリア info)

※ 衛星を受信中のみ作動する警報です。

平成 18 年 6 月に各警察より発表がありました「最重点地域」、「重点地域」を基に弊社調査による監視 (駐禁) エリアが登録されています。監視エリア付近に接近 (約 200m ~ 600m) すると、お知らせします。

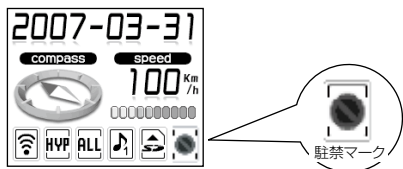
※ P68 の設定により機能を OFF/ON/ サイレントにすることができます。

- ・ OFF：画面表示と音声アナウンス共に警報しません。
- ・ ON：画面表示と音声アナウンスで警報します。
- ・ サイレント：画面表示のみで音声アナウンスは行いません。

| ボイス内容 | 液晶表示内容 |
|----------------|---|
| 効果音、駐車監視エリアです。 |  |

※ ロードセレクト機能 (P43) がシティーモード、オールモードの時のみ有効です。

※ 駐車監視エリア内を走行中は待機画面内の GPS 受信マーク部に「駐禁マーク」が表示されます。



⚠ 注意

弊社調査による監視エリアを登録して警報を行っていますが、下記には注意してください。

- ・ 全ての監視エリアで警報するわけではありません。
- ・ 実際の監視エリアと異なるエリアで警報することがあります。

■セーフモード設定（セーフティモード info）

表の期間におまかせモード設定又はマニュアルモード設定の場合に、自動的にオールオンモード設定に切替える設定です。

セーフモード期間中に電源が入ると、音声アナウンスと画面表示します。

※ P68 の設定により機能を ALL-ON/ON/OFF することができます。

- ALL-ON 電源が入ると音声アナウンスと画面表示をして、セーフティウィーク期間中は自動的にオールオンモードになります。
- ON 電源が入ると音声アナウンスと画面表示をします。セーフティウィーク期間中でもおまかせモード又はマニュアルモードの設定した状態を保持します。
- OFF 電源が入っても音声アナウンスと画面表示はしません。セーフティウィーク期間中でもおまかせモード又はマニュアルモードの設定した状態を保持します。

| セーフティウィーク | 日付 |
|---------------|------------------|
| 春の交通安全週間（※1） | 毎年の「4月6日～4月15日」 |
| 秋の交通安全週間（※1） | 毎年の「9月21日～9月30日」 |
| 年末取締り強化期間（※1） | 毎年の「12月15日～1月5日」 |

※1 交通安全週間は、原則として上記期間ですが、都合により変更となる場合があります。

※ 交通安全週間が終了後、元の設定に戻ります。



春の交通安全週間です。



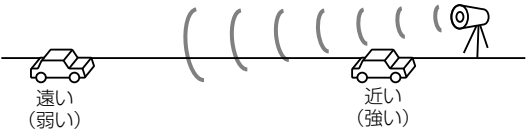
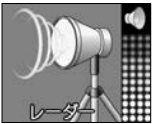


秋の交通安全週間です。



年末取締り強化期間です。

レーダー警報

レーダー式取締り機（P106）に接近した場合、下記のように警報を行います。

| | | | |
|----------------------|----------|--|---|
| レーダー式取締り機迄の距離（電波の強さ） | |  | |
| ディスプレイ表示 | |  | |
| レベルメーター | |  | |
| アラーム音 | 受信感度 | LOW | <p>警報音が鳴らない *警報表示は行います。</p> <p>警報音が鳴る</p> |
| | HI | | |
| | S-HI | | |
| | HYPER | | |
| ステップアラームのタイミング | | <p>ビッピッ・・・ビッピッ・・・ ▶ ビッピッ・ビッピッ・ビッピッ (スローテンポ・アラーム) (アップテンポ・アラーム)</p> <p>♪♪♪♪♪ ~ メロディ ~ ♪♪♪♪♪</p> | |
| ステルス波受信 (P106) | ディスプレイ表示 |  | |
| | 警報音 | <p>ピッピッピッ・・・ *メロディ設定の場合はテンポは変わらず警報を行います。</p> | |

* レーダー警報中でも GPS 警報、無線警報（カーロケ、350.1MHz、デジタル、署活系、ワイド、警察 / 消防ヘリテレ、取締特小、レッカー、新救急、消防、高速管理車両、パトロールエリア、警察活動、警備）を優先します。

無線警報

■受信範囲の切り替えについて

本製品は、カーロケ、350.1MHz、デジタル、署活系、ワイド、警察／消防ヘリテレ、取締特小、レッカー、新救急、消防、高速管理車両、警察活動、警備の各無線の受信感度を OFF/LOW/HI に設定（P68～70）することができます。

△ 注意

- ・ 放送局や無線中継局の近くを通過する時、強い電波の影響により誤作動する場合があります。また、VHF 帯の放送局の近くを通過する場合は、デジタル無線の受信をすることがあります。
- ・ 設置状況及び車載電子機器によっては特定の無線を受信する場合があります。そのような場合は設定を LOW 側へ変更してください。

◇受信距離

| 設定 | 受信種類 | 受信距離 |
|-----|--|---------|
| OFF | 警報は行いません | — |
| LOW | カーロケ、350.1MHz、デジタル、署活系、ワイド、 取締特小、レッカー、新救急、消防、高速管理車両、 警察活動、警備の各無線 | 約 500m |
| | 警察／消防ヘリテレ無線 | 約 1000m |
| HI | カーロケ、350.1MHz、デジタル、署活系、ワイド、 取締特小、レッカー、新救急、消防、高速管理車両、 警察活動、警備の各無線 | 約 1000m |
| | 警察／消防ヘリテレ無線 | 約 2000m |

警報について

◇警報画面

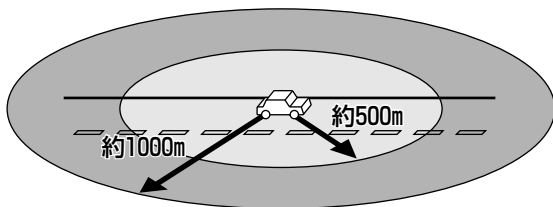
例：カーロケの場合



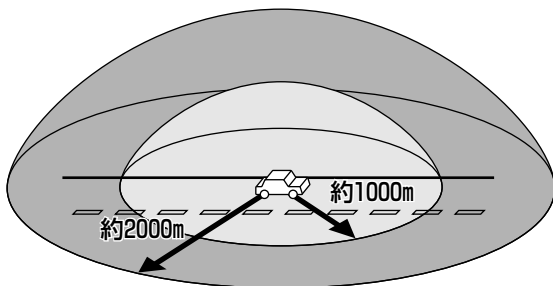
レベルメーター

※受信電波の強さによってレベルメーターが4段階に変化します。

◇カーロケ、350.1MHz、デジタル、署活系、ワイド、取締特小、レッカー、新救急、消防、高速管理車両、警察活動、警備の各無線



◇ヘリテレ無線受信距離



※ 受信感度（距離）は直線見通し距離で、間に障害物が無い状態での受信距離目安です。

⚠ 注意

使用状況、走行状態、製品取付け位置、周囲の環境（電波状況）によって受信感度（距離）が短くなる場合があります。

■カーロケ無線警報

●カー・ロケーター・システムとは…

「無線自動車動態表示システム」といい、緊急車両に装備されたGPS受信機より算出した位置データを無線で定期的（間欠）に各本部の車両管理センターへ送信するシステムです。本製品は緊急車両からの電波を受信し、音声で警報を行い緊急車両の走行を妨げないよう安全な回避を促します。



現在、緊急車両の多くはGPSより算出した位置データを無線で定期的（間欠）に各本部に送信するカー・ロケーター・システムを装備しています。

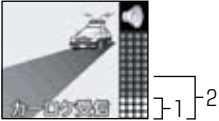
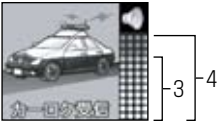


本製品は、各本部へ送信している電波を受信し、音声で警報を行い、緊急車両の走行を妨げないよう安全な回避を促します。

⚠ 注意

- ・カー・ロケーター・システムは間欠で送信される為、実際の緊急車両の接近と受信のタイミングにズレが生じることがあります。
- ・緊急車両は走行状態（緊急走行、通常走行、駐停車）によって、電波の送信時間が変化する為、実際の緊急車両の接近と受信のタイミングにズレが生じることがあります。
- ・緊急車両がエンジン停止時は電波の送信を行わない為、本製品での受信はできません。
- ・送信電波の中継局、受信本部近辺では緊急車両の接近に関わらず受信することがあります。
- ・本製品が受信するカー・ロケーター・システムは、パトカー、覆面パトカーを中心に導入されており白バイ、救急車、消防自動車等には現在導入されておりませんが、将来的には導入する可能性があります。

※ 一部地域又は、一部緊急車両には、カー・ロケーター・システムが装備されていない為、本製品では受信できないことがあります。

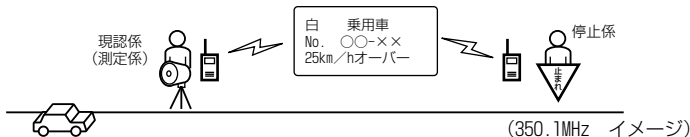
◇カーロケ電波の状況によって遠近識別警報を行います。


| ◇カーロケ無線受信状況 「ボイス内容」 | 液晶表示内容 |
|--|---|
| ◇遠いカーロケ電波を受信した場合 (受信レベルが、1 又は 2 の場合) 「効果音、カーロケ無線を受信しました。」 |  |
| ◇近いカーロケ電波を受信した場合 (受信レベルが、3 又は 4 の場合) 「効果音、近くのカーロケ無線を受信しました 緊急車両にご注意ください。」 |  |
| ◇接近するカーロケ電波を受信した場合 「効果音、カーロケ無線を受信しました 緊急車両の接近にご注意ください。」 |  |
| ◇カーロケ電波を受信し、その後カーロケ電波を 回避した場合 「効果音、カーロケ無線受信を回避しました。」 |  |

※ 走行条件に合わせて、ON/OFF 又は受信範囲を設定することができます。詳しくは、P68 参照。

■ 350.1MHz 警報（取締り用連絡無線）

取締り用連絡無線で使用する周波数帯で、速度違反取締りやシートベルト装着義務違反取締り等で使用することがあります。また、通話内容をコード化したデジタル無線方式を使用するケースもあり、音声受信ができない場合もあります。






| ボイス内容 | 液晶表示内容 |
|--|---|
| 効果音、350.1 無線を受信しました。 ～通話音声（デジタル信号はノイズ）～ |  |

※ 走行条件に合わせて、ON/OFF 又は受信範囲を設定することができます。詳しくは、P68 参照。

■デジタル無線警報


各警察本部と移動局（緊急車両等）が行う無線交信で、159MHz帯～160MHz帯で約53chの電波を受信します。通話内容がコード化（デジタル化）されており通話内容を聞くことはできませんが、音声と表示で警報を行い、付近を走行する緊急車両の走行を妨げないよう安全な回避を促します。デジタル無線受信電波の状況によって、遠近識別警報を行います。

| ◇デジタル無線受信状況 「ボイス内容」 | 液晶表示内容 |
|---|---|
| ◇遠いデジタル電波を受信した場合 「効果音、デジタル無線を受信しました。」 |  |
| ◇近いデジタル電波を受信した場合 「効果音、近くのデジタル無線を受信しました 緊急車両にご注意ください。」 |  |
| ◇接近するデジタル電波を受信した場合 「効果音、デジタル無線を受信しました 緊急車両の接近にご注意ください。」 |  |

※ 走行条件に合わせて、ON/OFF 又は受信範囲を設定することができます。詳しくは、P69 参照。

■署活系無線警報




パトロール中の警察官が警察本部や他の警察官との連絡用として使用している無線交信で約 134ch の電波を受信します。

| ボイス内容 | 液晶表示内容 |
|-------------------|---|
| 効果音、署活系無線を受信しました。 |  |

※ 走行条件に合わせて、ON/OFF 又は受信範囲を設定することができます。詳しくは、P69 参照。

■ワイド無線警報

Wireless Integrated Digital Equipment の略称。336 ~ 338MHz 帯を使用している警察専用の自動車携帯電話システムのこと。移動警察電話（移動警電）ともいいます。

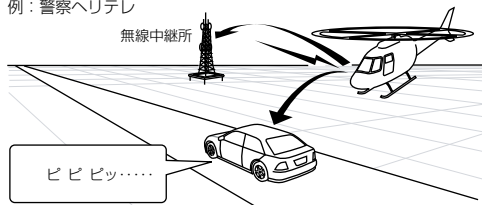
| ◇ワイド無線受信状況 「ボイス内容」 | 液晶表示内容 |
|---|---|
| ◇遠いワイド無線を受信した場合 「効果音、ワイド無線を受信しました。」 |  |
| ◇近いワイド無線を受信した場合 「効果音、近くのワイド無線を受信しました 緊急車両にご注意ください。」 |  |
| ◇接近するワイド無線を受信した場合 「効果音、ワイド無線を受信しました 緊急車両の接近にご注意ください。」 |  |

※ 走行条件に合わせて、ON/OFF 又は受信範囲を設定することができます。詳しくは、P69 参照。

■警察／消防ヘリテレ無線警報

「ヘリコプター画像伝送システム連絡用無線」の略称で警察ヘリテレは警察所属のヘリコプターから全国にある無線中継所に送信される無線通信のことです。主に事件・事故等の情報収集、取締り等の時に上空と地上とで連絡を取るために使われています。ヘリコプターから無線中継所間の電波を受信し、事件・事故等の情報を事前に知ることができ安全な回避を促します。また消防ヘリテレは火事等の事故処理や連絡用として使われています。



例：警察ヘリテレ



※一部地域又は、一部ヘリコプターにはヘリテレ無線が装備されていない為、本製品では受信できないことがあります。

※ヘリテレ無線は、ヘリコプターが電波を送信した時のみ受信することができます。


※送信電波の中継所周辺ではヘリコプターの接近に関わらず受信することがあります。(警察ヘリテレのみ)

| 受信種類 | ボイス内容 | 液晶表示内容 |
|--------|-------------------------------|---|
| 警察ヘリテレ | 効果音、警察ヘリテレ無線を受信しました ～通話音声～ |  |
| 消防ヘリテレ | 効果音、消防ヘリテレ無線を受信しました ～通話音声～ |  |

※ 走行条件に合わせて、ON/OFF 又は受信範囲を設定することができます。詳しくは、P69～70 参照。

■取締特小無線警報


シートベルト、一旦停止など取締現場では普通 350.1MHz 無線を使用しますが、取締の連絡用などに特定小電力無線を使用する場合があります。

| ボイス内容 | 液晶表示内容 |
|------------------------------|---|
| 効果音、取締特小無線を受信しました。 ～通話音声～ |  |

※ 走行条件に合わせて、ON/OFF 又は受信範囲を設定することができます。詳しくは、P69 参照。

■警察活動無線警報


機動隊が主に災害や行事に使用している無線です。

| ボイス内容 | 液晶表示内容 |
|--------------------|---|
| 効果音、警察活動無線を受信しました。 |  |

※ 走行条件に合わせて、ON/OFF 又は受信範囲を設定することができます。詳しくは、P69 参照。

■新救急無線警報


救急車と消防本部の連絡用無線として使用している無線です。主に首都圏で使用されています。

| ボイス内容 | 液晶表示内容 |
|-----------------------------|---|
| 効果音、新救急無線を受信しました。 ～通話音声～ |  |

※ 走行条件に合わせて、ON/OFF 又は受信範囲を設定することができます。詳しくは、P69 参照。

■消防無線警報

消防車が消火活動中や移動時に連絡用として使用している無線です。


| ボイス内容 | 液晶表示内容 |
|----------------------------|---|
| 効果音、消防無線を受信しました。 ～通話音声～ |  |

※ 走行条件に合わせて、ON/OFF 又は受信範囲を設定することができます。詳しくは、P70 参照。

■レッカー無線警報

東名、名神の一部高速道路や一部地域でレッカー業者が駐車違反や事故処理などの時に業務用無線として使用している無線です

※ 一般の業務用無線と同じ周波数の為、地域によっては一般業務無線を受信することもあります。


| ボイス内容 | 液晶表示内容 |
|------------------------------|---|
| 効果音、レッカー無線を受信しました。 ～通話音声～ |  |

※ 走行条件に合わせて、ON/OFF 又は受信範囲を設定することができます。詳しくは、P70 参照。

■高速管理車両無線警報

東日本、中日本、西日本の高速道路株式会社が使用している業務連絡無線です。おもに渋滞や工事、事故情報等でパトロール車両と本部の連絡に使用している無線です。




| ボイス内容 | 液晶表示内容 |
|--------------------------------|---|
| 効果音、高速管理車両無線を受信しました。 ～通話音声～ |  |

※ 走行条件に合わせて、ON/OFF 又は受信範囲を設定することができます。詳しくは、P70 参照。

■警備無線警報

各地の警備会社で使用している無線です。

| ボイス内容 | 液晶表示内容 |
|----------------------------|--|
| 効果音、警備無線を受信しました。 ～通話音声～ |  |


※ 走行条件に合わせて、ON/OFF 又は受信範囲を設定することができます。詳しくは、P70 参照。

警報について

■パトロールエリア警報（パトロールエリア info）

検問などで使用されている一定の無線電波を受信するエリアです。

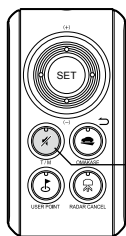
※ 必ず検問、取締等を行っているとは限りません。

| ボイス内容 | 液晶表示内容 |
|-------------------------|---|
| 効果音、パトロールエリアです ご注意ください。 |  |

※ パトロールエリア受信の設定や受信感度の調整はありません。カーロケ、350.1MHz、デジタル、署活系、ワイド、取締特小、警察ヘリテレ、警察活動無線の内2つ以上の設定がONになっていないと、パトロールエリア警報は行いません。

■ミュートマーク（機能）について

警報中にリモコンのミュートスイッチ操作やLSC機能が作動中などの警報がならない表示としてミュートマークが表示され、表示中は警報を行いません。ミュート状態では、その時の受信している電波がなくなり、待機画面に戻るとミュートが解除されます。



ミュートスイッチ

●レーダー、無線警報表示



レーダー



ミュートマーク

●オービス（GPS）警報表示



レーダー



ミュートマーク

リモコン操作以外にオービスキャンセル（P45）登録場所、レーダーキャンセル（P46）登録場所での警報キャンセル時、LSC機能作動中にミュートマークが表示されます。

■パス機能

デジタル、署活系、ワイド、警察ヘリテレ、消防ヘリテレ、取締特小、レッカー、新救急、消防、高速管理車両、警察活動などの各無線を常時受信してしまう周波数のみをスイッチ操作で本体に登録し、受信対象から外すことができます。一部地域など一定周波数のみを受信したままの状態が続く場合などにご使用してください。

◇登録方法

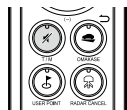
カーロケ、350.1MHz 無線、警備無線は設定（登録）できません。

デジタル、署活系、ワイド、取締特小、レッカー、新救急、消防、警察ヘリテレ、消防ヘリテレ、高速管理車両、警察活動、などの各無線（カーロケ、350.1MHz 無線、警備無線除く）受信警報中にミュートスイッチを**長押し**します。「ピッピッ」とブザー音が鳴れば、パス機能の登録は完了です。

効果音、取締特小無線を・・・



①警報中に



②ミュートスイッチを長押しします



ピッピッ

③ブザー音が鳴れば完了です

登録できない場合（カーロケ、350.1MHz 無線、警備無線）は「ピッ 登録できません」とアナウンスします。



ピッ
登録できません

◇解除方法

本体をオールリセット（P78）することにより解除されます。

※ 本体をリセットすると設定した内容は工場出荷状態になります。

P68～70 設定で OFF 設定した場合は、パス機能の登録に関係なく警報を行います。

■オートボリュームダウン機能

本機がレーダー受信警報してから約 15 秒後に、警報音のボリュームを自動的に小さくします。一度警報が解除されると、元の警報音のボリュームに戻ります。

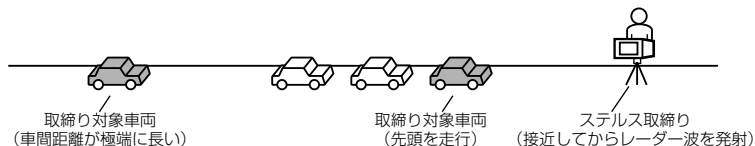
取締りの種類と方法

レーダー式の取締り

代表的なレーダー式取締りについての説明。

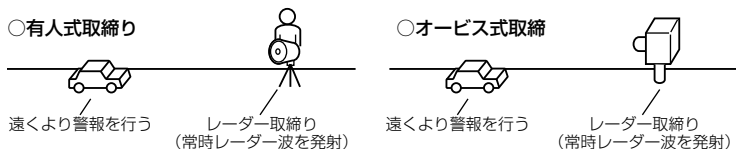
◇ステルス式取締り方法（有人式取締り）

取締り対象の車が取締り機の近くに接近してから、レーダー波を発射する狙い撃ち的な取締り方式です。走行車両の先頭や、前方走行車との車間距離が極端に長い場合等に測定されるケースが多く、100m以下の至近距離でレーダー波を発射するため、受信できなかったり、警報が間に合わないことがありますので、先頭を走行するときは、注意が必要です。



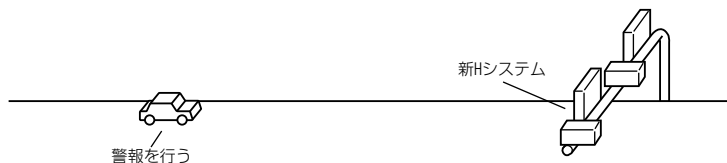
◇レーダー式取締り方法（有人式取締り／オービス式取締り）

レーダー波を常時発射し、通過する車両の速度を測定します。また、オービス式の場合は、違反車両を自動的に写真撮影します。多くの取締り現場に採用しておりレーダー波も500m以上の距離から受信することができます。また、オービス式であれば、本製品に位置データが登録してある場合、最長2kmより警報を行います。



◇新Hシステム式取締り方法（オービス式取締り）

レーダー波を間欠発射し、通過する車両の速度を測定し違反車両の写真撮影を自動で行い、警察本部の大型コンピュータへ専用回線で転送されます。レーダー波も500m前後で受信します。また、本製品に位置データが登録してある場合、最長2kmより警報を行います。



取締りの種類と方法

◇移動オービス式／パトカー車載式

ワンボックス車の後部にレーダー式オービスを搭載し、違反車両を取締る移動オービスとパトカーの赤色灯を改良して取締り機を搭載したパトカー車載式があります。どちらも出力の強いレーダー波を発射しますので、500m以上の距離から受信することができます。

※ 移動オービスで、本製品で探知できない光電管式もあります。

レーダー式以外の取締り

代表的なレーダー式以外の取締りについての説明。

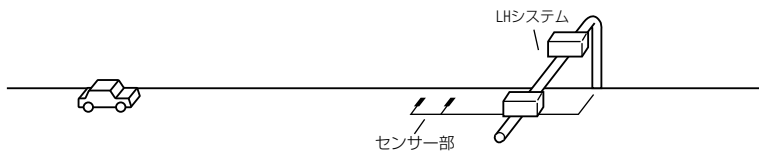
◇ループコイル式取締り方法（オービス式取締り）

測定区間の始めと終わりに磁気スイッチ（金属センサー）を路面下、中央分離帯等に埋め込み、通過時間から速度を算出し、違反車両の写真撮影します。本製品に位置データが登録してある場合、最長 2km より警報を行います。



◇LHシステム式取締り方法（オービス式取締り）

速度計測部がループコイル方式で、違反車両の写真撮影がHシステム方式の取締り機です。従来のレーダー探知機では警報ができませんでした。本製品では位置データが登録してある場合、最長 2km より警報を行います。



取締りの種類と方法

◇光電管式取締方法（有人式取締り）

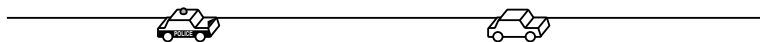
2点間に置かれたセンサーの通過時間から速度を算出し、違反車両を特定します。

○有人式取締り



◇追尾式取締り方法

パトカー・覆面パトカー・白バイ等が、一定の車両間隔を保った状態で後方を追尾し、走行速度を測定し記録します。



※ 光電管式取締方法（有人式取締り）及び追尾式取締り方法はレーザー波を発射しないタイプの取締り方法のため本製品では探知できません。（光電管式取締方法に関しては本製品のチェックポイントに登録されている地点（P84）であればGPS警報を行います。）

故障かな？と思ったら

製品に異常があった場合、下記内容をご確認ください。

| 症状 | ここをチェックしてください。 | 参照ページ |
|-------------------|---|---|
| 電源が入らない | <ul style="list-style-type: none"> ●配線を間違えていませんか？ ●シガープラグコードは切れていませんか？ ●付属のヒューズが切れていませんか？ | 21,22ページ 21,22ページ 21,22ページ |
| GPS 衛星を受信しない | <ul style="list-style-type: none"> ●アンテナユニットは正しく取付けられていますか？ ●周辺(アンテナユニット上部)に電波を遮断する物はありませんか？ ●周辺に電子機器(本体及びメインユニットを含む)がありませんか？ | 16,17ページ 17ページ 17ページ |
| 警報をしない | <ul style="list-style-type: none"> ●音量は正しく設定してありますか？ ●ロードセレクト設定は正しく設定してありますか？ ●LSC-i 機能が作動していませんか？ | 36ページ 43ページ 76ページ |
| GPS 警報をしない場合 | <ul style="list-style-type: none"> ●周辺(アンテナ上部)に電波を遮断する物はありませんか？ ●反対(対向)車線上のオービスではありませんか？ ●オービス・N システム以外の取締り機ではありませんか？ ●N システム警報の設定は OFF になっていませんか？ ●新たに設置されたオービス・N システムではありませんか？ ●誤って警報キャンセルを設定していませんか？ | 17ページ 81ページ 81,83ページ 67ページ 12ページ 45ページ |
| レーダー警報をしない場合 | <ul style="list-style-type: none"> ●レーダー式以外の取締りではありませんか？ ●誤ってレーダーキャンセルを設定していませんか？ ●レーダー受信感度は適正ですか？ | 107ページ 46ページ 74,75ページ |
| ユーザー登録ができない | <ul style="list-style-type: none"> ●周辺(アンテナユニット上部)に電波を遮断する物はありませんか？ ●100 件以上を登録していませんか？ | 17ページ 44ページ |
| レーダーキャンセル登録ができない | <ul style="list-style-type: none"> ●周辺(アンテナユニット上部)に電波を遮断する物はありませんか？ ●50 件以上を登録していませんか？ | 17ページ 46ページ |
| 無線警報がよく鳴る | ●特定の無線を受信する場合は設置状況及び車載電子機器の影響が考えられます。取付位置を変更してください。 | — |
| リモコンで操作できない | <ul style="list-style-type: none"> ●リモコンと本体の間に障害物はありませんか？ ●リモコンの電池残量はありますか？ ●本体周辺に電子機器(ナビ等)がありませんか？ 30cm 以上離してください。 | 23ページ 23ページ |
| 液晶ディスプレイが真っ黒表示になる | ●液晶ディスプレイの作動温度範囲を超えていませんか？ | 12ページ |

次ページへ続く

その他

| 症 状 | ここをチェックしてください。 | 参照ページ |
|------------------------|--|----------------------------|
| 高度表示が出ない / 実際と異なる | ●高度情報は他の情報に比べ多くの GPS 情報が必要です。表示及び精度は他の情報に比べ劣ります。 | — |
| SD カードへの保存時間が長くなった | ●定期的に SD カードをフォーマットすることで安定して使用することができます。 | 59,65,79 ページ |
| 希望の録画設定にできない | ●情報表示画面がカメラ表示になってませんか？ ●画質設定が高画質になってませんか？ ●合計記録時間を超える設定を行おうとしていませんか？ | 60 ページ 62 ページ 63 ページ |
| 画像が明るすぎる / 暗すぎる | ●電源投入直後や連続撮影した場合、およびトンネル通過時等の外光の変化が大きいと画像が明るすぎたり、暗すぎたりする場合があります。 ●ドライブレコーダーに特化され映像に調整されています。見た目には若干暗く映りますが、故障ではありません。 | — |
| 画像に黒いラインが入る | ●保存画像の中には太陽光の状況によっては画像に黒いラインが入ることがありますが異常ではありません。 | — |
| カメラ表示にできない | ●フレームレートが「14fps」になっていませんか？ | 62 ページ |
| 記録した映像で信号機が点滅 / 消灯している | ●LED 式信号機の場合、LED が高速で点滅しているため、信号機が点滅したり消灯しているような映像が記録されることがありますが、故障ではありません。 | 52 ページ |
| 「40 バッテリー異常」が出る | ●内蔵バッテリーの充電が不十分ではありませんか？ | 29 ページ |
| 「00 時刻未設定異常」が出る | ●GPS は受信していますか？ | 29 ページ |

エラーコード

エラーコードの表示があった場合、下記内容をご確認ください。

| エラー No. | エラー表示 | エラー表示別対処方法 | 外部スイッチ LED 表示 |
|----------------------|------------|---|---------------|
| 21 | SD カード確認 | SD カードは入っていますか？ | 赤点灯 |
| 22 | | SD カードの書き込み禁止スイッチが ON になっていませんか？ | 赤点灯 |
| 60 | SD カード異常 | SD カードへの書き込みができない状態です。パソコンで SD カードのフォーマットを行ってください。 | 赤点灯 |
| 20 23 | SD カード残量異常 | SD カードの容量が少ない、保存ができないため、映像を記録することが出来ません。SD カードのデータをパソコン等へ移動してください。 | 赤点灯 |
| 40 | バッテリー異常 | メインユニット内蔵バッテリーの電圧が低下しています。定期的に内蔵バッテリーの充電を行ってください。 ※ 時刻未設定の場合、「40 バッテリー異常」のエラーがでることがあります。 | 赤点灯 |
| 10 | 機器温度異常 | 本体の使用温度範囲を超えています。しばらく時間を置いてからご使用ください。 | 赤点灯 |
| 00 | 時刻未設定異常 | 本体の現在時刻が認識されていません。再度キーを ON にして、衛星を受信させてください。 ※ 時刻未設定のまま映像を記録した場合、表示が異なります。 | 赤点灯 |
| 70 | 機器異常 | 外部スイッチが押されたままになっている、配線のかみ込み等の確認をしてください。 | 赤点滅 |
| 90 91 92 93 | | キーを OFF にし、メインユニット内蔵バッテリーを外し、リセットを行って下さい。 症状が改善されない場合は、購入された販売店へご相談下さい。 | 赤点滅 |
| 30 | | 外部スイッチの配線、設定等の確認をしてください | 赤点灯 |
| 31 | | 車両情報ユニットの配線、設定等の確認をしてください | |
| 50 | | メインユニットの配線、設定等の確認をしてください | |

さくいん

| | | |
|---------------------|----------------------|---------|
| 1/A | 画面表示カラー切替え機能 | 77 |
| 350.1MHz 警報 | カレンダー | 38 |
| ASC-i | カレンダー + 時計 | 38 |
| ECO レベル | 期間設定 | 64 |
| GPS 機能 | 危険運転お知らせ機能 | 50 |
| GPS 警報 | 危険報知レベル | 63 |
| GPS 設定 | 輝度調整 | 37 |
| G メーター | 機能設定 | 61 |
| LSC-i | 急カーブポイント警報 | 86 |
| N システム /NH システム警報 | 記録時間 | 62/63 |
| SD カード | 記録方法 | 52 |
| | クリア | 64 |
| あ | 警告 | 3 |
| アイコン表示 | 警察 / 消防ヘリテレ無線警報 | 100 |
| 愛車点検お知らせ機能 | 警察活動無線警報 | 101 |
| アラーム機能 | 警備無線警報 | 103 |
| アンテナユニット | 県境ポイント警報 | 88 |
| 緯度経度 | 高速管理車両無線警報 | 103 |
| 運転採点機能 | ご使用上の注意 | 3/4 |
| 運転時間 | コントラスト | 60 |
| 映像の記録 | コンパス | 38/39 |
| 映像を確認する | 梱包内容 | 9 |
| 映像をロックする | | |
| 液晶ディスプレイ | さ | |
| オートディマー機能 | サービスエリア / パーキングエリア / | |
| オートボリュームダウン機能 | ハイウェイオアシス警報 | 85 |
| オービス (GPS) 方向指示 | 作動確認 | 26 ~ 32 |
| オービス / ユーザー登録ポイント警報 | 事故ポイント警報 | 85 |
| オービス警報キャンセル機能 | 車両電圧表示機能 | 49 |
| オープニングコール機能 | 仕様 | 114 |
| オールオンモード | 消防無線警報 | 102 |
| オールリセット | 情報ユニット | 64 |
| おまかせカンタン設定 | 署活系無線警報 | 99 |
| おまかせモード | ショックレベル | 62 |
| 音量調整 | 新救急無線警報 | 101 |
| | スピードパルス | 60 |
| か | 製品の特徴 | 5 |
| カーロク無線警報 | セーフモード設定 | 91 |
| 外部スイッチ | 設定方法 | 65 |
| 外部スイッチ LED 確認 | 走行管理機能 | 48 |
| 各機能の設定 | 速度 | 38/39 |
| 各部の名称 | | |
| 画質 | | |
| 画面表示 | | |

| | |
|---------------|----------|
| た | |
| 待機画面表示 | 38/39 |
| チェックポイント警報 | 84 |
| 駐車監視エリア警報 | 90 |
| ディスプレイモード | 65/80 |
| データ更新 | 12 |
| デジタル無線警報 | 98 |
| テスト機能 | 36 |
| 電源を OFF にする | 35 |
| 電源を ON にする | 34 |
| 電池の交換方法 | 24 |
| 時計 | 38/39 |
| 取締特小無線警報 | 101 |
| 取締りの種類と方法 | 106～108 |
| 取付け | 13～33 |
| 取付方向確認 | 61 |
| トリップ | 63 |
| トンネルポイント警報 | 87 |
| は | |
| バス機能 | 105 |
| バックアップ機能 | 51 |
| バトロールエリア警報 | 104 |
| ビューワソフト | 55～57 |
| 標高 | 38/39 |
| フォーマット | 59/65/79 |
| フレームレート | 62 |
| 分岐合流ポイント警報 | 89 |
| 保証書 | 裏表紙 |
| ポリスエリア警報 | 84 |
| ま | |
| マニュアルモード | 41/42 |
| 道の駅ポイント警報 | 86 |
| ミュートマーク | 104 |
| 無線警報の受信範囲 | 93/94 |
| 無線設定 | 61 |
| メニュー内容 | 66～73 |
| や | |
| ユーザー登録ポイント追加／ | |
| オービス警報キャンセル機能 | 44 |
| ら | |
| リモコンについて | 23 |
| レーダーキャンセル機能 | 46/47 |
| レーダー警報 | 92 |
| レッカー無線警報 | 102 |
| ロードセレクト機能 | 43 |
| 録画データ確認 | 61 |
| わ | |
| ワイド無線警報 | 99 |

製品仕様

◇ディスプレイ本体

| | |
|---------------|---|
| 作動温度範囲 | -10℃～60℃ |
| 本体サイズ | 75 (W) × 115 (L) × 28.2 (H) / mm (突起部除く) |
| 液晶フロント 部高さ | 48.2mm |
| 液晶ディスプレイ | 41 (W) × 33 (H) / mm |
| レイサイズ | 2 インチ TFT |
| 内蔵カメラ画 素数 | 30 万画素 (VGA) |
| 内蔵カメラ角度 | 水平画角 105° 垂直画角 78° |
| 重量 | 130 g |

◇メインユニット (バッテリー内蔵)

| | |
|-----------|-------------------------------|
| 電源電圧 | 12V 専用 |
| 消費電流 (平均) | 200mA |
| 本体サイズ | 72 (W) × 90 (L) × 25 (H) / mm |
| 重量 | 115 g (内蔵バッテリー含む) |

◇GPS/レーダーアンテナユニット

| | |
|-------|---------------------------------|
| 本体サイズ | 65.5 (W) × 52 (L) × 19 (H) / mm |
| コード長さ | 3 m |
| 重量 | 50 g (コード除く) |

◇外部スイッチ

| | |
|-------|---------------------------------|
| 本体サイズ | 18 (W) × 35 (L) × 11.5 (H) / mm |
| コード長さ | 3 m |
| 重量 | 5 g (コード除く) |

◇リモコン (型式: RRE-X704)

| | |
|--------|-------------------------------|
| サイズ | 32 (W) × 62 (L) × 13 (H) / mm |
| 重量 | 20g (電池含む) |
| 作動温度範囲 | -10℃～60℃ |
| 使用電池 | リチウム電池 CR2025 (1 個) |

◇ビューワーソフト

| | |
|------|---|
| 稼動条件 | |
| OS | Windows2000,WindowsXP |
| CPU | OS が快適に動作するために必要な CPU |
| メモリ | OS が快適に動作するために必要なメモリ |
| その他 | SD カードが挿入できること (SD カードリーダーは本製品に付属しておりません。 お客様にて市販の SD カードリーダーをご購入ください) |

※ OS はいずれも日本語版のみの対応となります。

※ 本製品の外観および仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。予めご了承ください。

受信周波数

- ・ GPS (1575.42MHz)
- ・ Xバンド (10.525GHz)
- ・ Kバンド (24.200GHz)
- ・ 取締り用連絡無線 (350.1MHz 帯)
- ・ カー・ロケーター・システム (407MHz 帯)
- ・ デジタル無線 (159MHz 帯～160MHz 帯)
- ・ 署活系無線 (347MHz 帯、361MHz 帯)
- ・ ワイド無線 (336MHz 帯～338MHz 帯)
- ・ 警察ヘリテレ無線 (340MHz 帯～372MHz 帯)
- ・ 消防ヘリテレ無線 (382MHz 帯～383MHz 帯)
- ・ 取締特小無線 (422MHz 帯)
- ・ レッカー無線 (154MHz 帯、
465MHz 帯～468MHz 帯)
- ・ 新救急無線 (371MHz 帯)
- ・ 消防無線 (466MHz 帯)
- ・ 高速管理車両無線 (383MHz 帯)
- ・ 警察活動無線 (162MHz 帯)
- ・ 警備無線 (468MHz 帯)